

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	02保健福祉管理運営事業	
細 事 業 名	01 保健福祉管理運営事業			決算書	P.176
総 合 計 画	計画項目	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進			
決 算 額	①	最 終 予 算 額	②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
845千円		942千円		97千円	89.7 % 919千円
目的	保健事業の拠点となる保健センター（大宮、網野）の適切な維持管理及び運営を行い、市民の疾病予防、健康の保持増進を図る。				
主要な 事業及び 成果の概要	乳幼児健診、健康・介護予防教室等の保健事業が円滑に実施され、市民の保健福祉増進の拠点として機能した。 ○大宮保健センター（利用者：29件、1,149人） 33千円 プロパンガスの燃料費 33千円 ○網野保健センター（利用者：122件、3,712人） 812千円 消耗品費 2千円 プロパンガスの燃料費 38千円 光熱水費（電気・水道） 566千円 施設修繕料 82千円 火災保険料 5千円 施設清掃等の委託料 119千円 ○丹後保健センター（利用者：4件、577人） ※維持管理経費は丹後庁舎管理事業から支出 ○弥栄保健センター（利用者：12件、171人） ※維持管理経費は弥栄庁舎管理事業から支出 ○久美浜保健センター（利用者：26件、291人） ※維持管理経費は久美浜庁舎管理事業から支出				
主な財源					
評価・課題等	施設の適正な維持管理を行うことで、各種保健事業が円滑に実施され、保健福祉増進の拠点として貢献することができた。				
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課				

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	03自殺予防対策事業																																			
細 事 業 名	01 自殺予防対策事業				決算書 P.178																																		
総 合 計 画	計画項目	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進																																					
決 算 額	①	最 終 予 算 額	②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額																																		
2,733千円		2,904千円		171千円	94.1 % 3,204千円																																		
目的	かけがえのない生命が自らの手で絶たれているという痛ましい現実の中、自殺者をなくすために市民、行政、関係機関及び団体等が一体となって自殺予防対策を推進する。																																						
主要な事業・事業及び成果の概要	平成26年3月に策定した「自殺のないまちづくり行動計画」に基づき、自殺対策を推進した。 「京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会」の構成団体と連携・協働し、悩みを抱える人への「気づき」を大切に、こころ・いのち・つなぐ手研修を展開するとともに、臨床心理士によるこころの健康相談、こころの健康づくり講演会、フリーアクセスによる無料電話相談を引き続き実施した。さらに市民への啓発活動として、4回の街頭啓発を実施し、概ね1,500人に啓発物品を配布した。 <table><tr><td>○フリーアクセス</td><td>580千円</td></tr><tr><td>・フリーアクセス設置謝金（京都いのちの電話）</td><td>100千円</td></tr><tr><td>・フリーアクセス通話料 507件</td><td>480千円</td></tr><tr><td>○こころ・いのち・つなぐ手（ゲートキーパー）研修会</td><td>264千円</td></tr><tr><td>・初級講座2回・中級講座2回（参加者：延べ119人）</td><td></td></tr><tr><td>○臨床心理士によるこころの健康相談</td><td>378千円</td></tr><tr><td>・毎月1回開設（相談者：延べ27人）</td><td></td></tr><tr><td>○こころの健康づくり講演会及びこころの健康相談会</td><td>291千円</td></tr><tr><td>・8月22日（土）参加者：137人・「健康相談会」参加者：3人</td><td></td></tr><tr><td>・演題：「魔法の言葉『ありがトン』で人生もっとうまいく！」</td><td></td></tr><tr><td>・講師：(株)ありがトン 代表 自己感謝スキルトレーナー 澤登和夫 氏</td><td></td></tr><tr><td>○街頭啓発（協議会構成団体、丹後保健所及び市職員で実施）</td><td>45千円</td></tr><tr><td>・年間4回、9会場において実施（啓発物品配布数：1,500セット）</td><td></td></tr><tr><td>○こころの健診（うつスクリーニング）</td><td>64千円</td></tr><tr><td>・大宮地域（8会場：392人）を対象に実施</td><td></td></tr><tr><td>○研修関係旅費等</td><td>750千円</td></tr><tr><td>○その他共通経費（消耗品・印刷製本等）</td><td>361千円</td></tr></table>					○フリーアクセス	580千円	・フリーアクセス設置謝金（京都いのちの電話）	100千円	・フリーアクセス通話料 507件	480千円	○こころ・いのち・つなぐ手（ゲートキーパー）研修会	264千円	・初級講座2回・中級講座2回（参加者：延べ119人）		○臨床心理士によるこころの健康相談	378千円	・毎月1回開設（相談者：延べ27人）		○こころの健康づくり講演会及びこころの健康相談会	291千円	・8月22日（土）参加者：137人・「健康相談会」参加者：3人		・演題：「魔法の言葉『ありがトン』で人生もっとうまいく！」		・講師：(株)ありがトン 代表 自己感謝スキルトレーナー 澤登和夫 氏		○街頭啓発（協議会構成団体、丹後保健所及び市職員で実施）	45千円	・年間4回、9会場において実施（啓発物品配布数：1,500セット）		○こころの健診（うつスクリーニング）	64千円	・大宮地域（8会場：392人）を対象に実施		○研修関係旅費等	750千円	○その他共通経費（消耗品・印刷製本等）	361千円
○フリーアクセス	580千円																																						
・フリーアクセス設置謝金（京都いのちの電話）	100千円																																						
・フリーアクセス通話料 507件	480千円																																						
○こころ・いのち・つなぐ手（ゲートキーパー）研修会	264千円																																						
・初級講座2回・中級講座2回（参加者：延べ119人）																																							
○臨床心理士によるこころの健康相談	378千円																																						
・毎月1回開設（相談者：延べ27人）																																							
○こころの健康づくり講演会及びこころの健康相談会	291千円																																						
・8月22日（土）参加者：137人・「健康相談会」参加者：3人																																							
・演題：「魔法の言葉『ありがトン』で人生もっとうまいく！」																																							
・講師：(株)ありがトン 代表 自己感謝スキルトレーナー 澤登和夫 氏																																							
○街頭啓発（協議会構成団体、丹後保健所及び市職員で実施）	45千円																																						
・年間4回、9会場において実施（啓発物品配布数：1,500セット）																																							
○こころの健診（うつスクリーニング）	64千円																																						
・大宮地域（8会場：392人）を対象に実施																																							
○研修関係旅費等	750千円																																						
○その他共通経費（消耗品・印刷製本等）	361千円																																						
主な財源	府補	自殺対策事業補助金	1,469千円																																				
評価・課題等	○各事業を通して、参加者がこころと体の健康増進を図ること、悩んだ時は支援を求め、悩み苦しんでいる人に気づき・相談窓口につなぎ・見守ることの重要性について、理解を深めてもらうことができた。 ○総合的な自殺予防対策を推進するため、ゲートキーパーの活用、自殺の実態把握、自殺未遂者、自死遺族者支援について、本市の実情に応じた施策を展開する必要がある。																																						
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																																						

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	04健康増進計画・食育推進計画策定事業	
細 事 業 名	01 健康増進計画・食育推進計画策定事業				決算書 P.178
総 合 計 画	計画項目	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
1,049千円	1,136千円	87千円	92.3 %	1,181千円	
目的	市民一人ひとりの健康寿命の延伸のため、“食育の推進”を含む「京丹後市健康推進計画」を策定する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	「京丹後市健康増進計画」の策定にあたり、基礎資料とするために、健康と食に関する意識や実態について市民アンケート調査を実施した。 調査の概要 ・対象者：市内在住の20歳以上の住民から無作為抽出 ・調査方法：郵送による配布及び回収 ・調査時期：平成27年9月 ・調査数：2,000人 回収数：905人（45.3%） ○消耗品費（アンケート事務用品費）1千円 ○印刷製本費（アンケート送付用封筒）47千円 ○通信運搬費（アンケート送付・返信費用）331千円 ○委託料（計画策定に係るアンケート調査業務）670千円				
主な財源					
評価・課題等	アンケート調査を実施することで、市民の健康増進への取組状況、健康意識等の把握ができ、健康増進計画を策定する上で貴重な資料とすることができた。				
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課				

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	50保健衛生総務一般経費	
細 事 業 名	01 保健衛生総務一般経費				決算書 P.178
総 合 計 画	計画項目	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
3,660千円	3,895千円	235千円	93.9 %	2,707千円	
目 的	各種保健事業を円滑に実施するために必要な臨時職員賃金、研修旅費、各種負担金などの経費を支出することにより、市民の健康増進を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	産休代替保健師の任用、各種研修・研究会等への参加及び旧丹後保健センターの維持管理を実施した。 ○産休代替保健師の任用経費 臨時保健師賃金 ○職員研修等経費 各種旅費（費用弁償・研修旅費等） ○旧丹後保健センター維持管理経費 光熱水費 火災保険料 消防設備等保守点検委託料 ○健康管理システム保守経費（負担金） 健康管理システム改修負担金 共同利用負担金（保守経費） 予防接種広域化システム改修負担金 ○その他の経費 栄養士会・保健師協議会等負担金 消耗品費・燃料費 その他委託料（予防接種・看板作成） 保健福祉事業医療賠償保険料 有料道路通行料 自動車事故損害賠償金 平成26年度感染症予防事業費等国庫負担金返還金 102千円 102千円 530千円 530千円 18千円 4千円 6千円 8千円 2,375千円 610千円 1,752千円 13千円 635千円 95千円 77千円 105千円 82千円 18千円 248千円 10千円				
主 な 財 源	国補	感染症予防事業補助金（1/2）			50千円
	国補	社会保障・税番号制度システム整備費補助金			407千円
	諸収入	市有自動車損害共済金（10/10）			247千円
評 価 ・ 課 題 等	○研修会等への参加により、専門職としての知識を得ることができた。 ○今後も地域保健を取り巻く状況の変化に対応するために研修会等に参加し、職員の資質を向上する必要がある。				
事 業 所 管 課	健康長寿福祉部／健康推進課				

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	01地域健康づくり推進事業
細 事 業 名	01 地域健康づくり推進事業			決算書 P.180
総 合 計 画	計画項目	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額
219千円	242千円	23千円	90.4 %	242千円
目 的	健康づくりに対する意識を啓発するとともに、健康づくりの重要な要素である栄養の視点から、食生活改善のための地域活動を推進する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	管理栄養士が食生活改善推進員を対象に、食や生活習慣病予防などに関する研修を実施し、食生活改善推進員により、研修した内容を伝達講習会の場で地域住民に伝えることで、市民の健康づくりを支援した。			
	○地域活動を進めるための研修会			64千円
	・ 総会時全体研修会 講師：ゆう薬局 薬剤師 船戸 一晴氏 (参加人数：76人) 事業費：報償費 (10千円)			
	・ 各支部研修会 6支部×1回開催 (参加人数：89人) 「減塩について」 講話と調理実習 講師：健康推進課 管理栄養士 事業費：需用費 (52千円)、役務費 (1千円)、会場借上料 (1千円)			
	○地域伝達講習会			
	18回開催、参加人数：延べ254人 食改従事者：延べ49人			155千円
	事業費：食改員謝金 (108千円)、需用費 (47千円)			
	【食生活改善推進員】			
	峰山町	大宮町	網野町	丹後町
	26人	23人	29人	30人
	弥栄町	久美浜町	合 計	
	24人	15人	147人	
	※H28.3月末現在			
主 な 財 源	府補	消費・安全対策交付金 (1/2)		77千円
評 価 ・ 課 題 等	○食生活改善推進員を対象とした研修会を実施することにより、食に関する豊かな知識を得ていただくとともに、地域における普及活動を支援できた。 ○減塩をテーマに地域伝達講習会を実施し、市民の健康づくりを支援することができた。 ○今後も市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいけるよう、正しい知識を普及啓発していく必要がある。			
事 業 所 管 課	健康長寿福祉部／健康推進課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	01地域健康づくり推進事業	
細 事 業 名	02 食育推進事業			決算書	P.180
総 合 計 画	計画項目	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進			
決 算 額	①	最 終 予 算 額	②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
680千円		691千円		11千円	98.4 % 691千円
目 的	市民の食育に対する理解を深めるため、啓発活動や関係機関・団体等との連携を行い、「京丹後市食育推進基本方針」に基づき食育を推進する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	市民を対象にした食育イベントやケーブルテレビを活用した食育普及のための料理番組を放映したほか、食生活改善推進員による地域での食育伝達講習を実施した。さらに、保育所・幼稚園児、小・中学生を対象とした普及啓発を行った。 また、関係機関や団体等との連携のための食育推進ネットワークを開催し、食をとりまく現状や課題を共有した。 ○食育イベント1回 (消耗品費) 123千円 京丹後市商工祭における展示及び体験コーナー 参加人数：132人 ○長寿食レシピを活用したケーブルテレビ料理番組の放映 (3番組制作) 23千円 食生活改善推進員謝金 (18千円) 消耗品費 (5千円) ○食生活改善推進員による食育伝達講習 (謝金) 108千円 18回開催、参加人数：延べ221人、食改従事者：延べ49人 ○長寿食レシピを活用した食育レシピの配布 (2種類) 67千円 食生活改善推進員による一般、小・中学生対象料理教室、食育伝達講習時 ○保育所・幼稚園児対象の食育指導及びランチョンマットの配布 150千円 消耗品費 (41千円) 印刷製本費 (109千円) ランチョンマット配布：1,157人 ○食育啓発チラシ・ポスター配布 (印刷製本費) 161千円 ポスター：保育所・幼稚園に配布 チラシ・ポスター：小・中学校に配布 ○食育啓発用のぼりの配布 (市内3店舗) 26千円 ○食育推進ネットワーク (2回) (消耗品費、通信運搬費) 22千円 ネットワーク委員：16団体17人 (保健、農林水産、商工観光、教育等関係団体で構成)				
主 な 財 源	府補 消費・安全対策交付金 (1/2) 340千円				
評 価 ・ 課 題 等	○食育について、各種媒体を通じて情報発信することで周知を行うことができた。また、イベントや講習会により理解を深めてもらうことができた。 ○食育推進ネットワークによる関係機関・団体等と更に連携した取組を推進する必要がある。				
事 業 所 管 課	健康長寿福祉部／健康推進課				

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	02健康長寿のまちづくり推進事業
細 事 業 名	02 生涯現役社会推進検討経費			決算書 P.180
総 合 計 画	計画項目 22 生きがいをもって暮らし続けられる高齢者福祉の推進			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
189千円	480千円	291千円	39.3 %	0千円
目的	生涯現役社会づくり推進に係る条例の整備及び運用方針の策定について、市民及び有識者等を含めた検討委員会を設置し、生涯現役社会づくりの推進について検討を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○報償費 90千円 生涯現役社会づくり条例検討委員会委員謝金 学識経験者委員 14千円×1人×3回 42千円 市内委員 4千円×延べ12人 48千円 ○旅費 99千円 費用弁償（検討委員会委員費用弁償） 学識経験者委員 93千円 市内委員 6千円 【生涯現役社会づくり条例検討委員会】 委員数：7人（学識経験者1人・市内委員6人） 検討内容：①（仮称）京丹後市生涯現役社会づくり条例案 ②条例の運用方針等 開催回数：第1回平成27年10月22日 第2回平成27年11月 7日 第3回平成28年 3月 8日			
主な財源				
評価・課題等	○京丹後市健康と福祉のまちづくり審議会からの答申に基づき、生涯現役社会づくり条例検討委員会を設置し、高齢者がいつまでも健康で生きがいのある生涯現役社会の実現のための条例案の検討を行った。			
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	02健康長寿のまちづくり推進事業
細 事 業 名	04 健康楽歩里ポイント事業			決算書 P.180
総 合 計 画	計画項目	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
877千円	1,054千円	177千円	83.2 %	708千円
目的	健康的な生活習慣のきっかけづくりとして健康楽歩里ポイント事業及びウォーキングイベントを実施し、市民の健康的な生活習慣の定着や継続を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○健康楽歩里ポイント事業			483千円
	市民が立てた自己目標の達成や、ウォーキング及び保健事業等の参加に対してポイントを付与し、配布したポイントカードに記録をする。			
	〔チャレンジ期間〕5月～11月			
	〔ポイントカード〕作成：4,000部、配布：2,183部、提出：168人			
	〔ポイント活用方法〕①健康関連グッズが当たる抽選に参加			
	②ウォーキングコースの環境整備に活用			
	・報償費（健康関連グッズ：50人分）			46千円
	・需用費（ウォーキングコース看板・野外ベンチ設置等）			275千円
	・その他経費（印刷製本費・通信運搬費ほか）			162千円
	○ジオ健康ウォーキング&ノルディックウォーク講習会			148千円
主な財源	〔開催日〕5月15日（日）			
	〔開催場所〕丹後王国「食のみやこ」園内及び周辺（約4.6km）			
	〔参加者〕144人			
	・需用費（ウォーキング啓発グッズ・消耗品等）			61千円
	・印刷製本費（チラシ印刷代）			87千円
	○産学公連携によるプラットフォーム事業			246千円
	市民の健康寿命の延伸を図るため、産学公による連携チームにおいて、健康楽歩里ポイント事業の評価とITの活用によるリニューアルについて検討した。			
	〔チーム構成〕京都工芸繊維大学・京都府立医科大学・ANNAI(株)・京都府			
	〔チーム会議〕2回開催（2月29日、3月28日）			
	・報償費（委員謝金）			101千円
評価・課題等	・旅費（委員費用弁償・職員旅費）			30千円
	・その他経費（会場借上料・有料道路通行料ほか）			115千円
	府補 産学公連携事業運営委託金			246千円
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	03健康づくり推進員活動事業													
細 事 業 名	01 健康づくり推進員活動事業			決算書 P.182													
総 合 計 画	計画項目	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進															
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額													
1,224千円	1,342千円	118千円	91.2%	1,342千円													
目 的	健康づくり推進員の育成及び健康づくりに関する地区活動を支援し、地域における市民主体の健康づくりを推進する。																
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	健康づくり推進員を対象に、健康づくりや体づくりについて、医師、健康運動指導士による研修を実施した。また、健康関連イベントの情報提供、講師派遣等を行い、推進員による地域活動を支援するとともに、地域における市民主体の健康づくりを推進した。																
	○育成のための研修会等の開催																
	・全体研修会（1回） 参加人数：85人																
	・ブロック別研修会（4ブロック） 参加人数：55人																
	・推進員便りの発行（年4回）																
	○地区活動の支援																
	・地区健康教室の開催（11回） 参加人数：332人																
	・健康イベントへの協力、サザエさん体操の普及活動等 参加人数：47人 （ジオ健康ウォーキング、全国ご当地健康体操サミット等）																
	・研修会講師謝金等 85千円																
	・ブロック別研修会健康運動士謝金 18千円																
・健康づくり推進員活動謝礼品（3,000円×222人） 666千円																	
・消耗品費（研修会、活動にかかる消耗品等） 186千円																	
・印刷製本費（健康づくり推進員ハンドブック） 54千円																	
・役務費（案内、便り等の郵送料） 215千円																	
○健康づくり推進員人数（平成28年3月31日現在）																	
<table><tr><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td><td>合計</td></tr><tr><td>47人</td><td>30人</td><td>39人</td><td>21人</td><td>14人</td><td>71人</td><td>222人</td></tr></table>				峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計	47人	30人	39人	21人	14人	71人	222人
峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計											
47人	30人	39人	21人	14人	71人	222人											
任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日（2年間）																	
主 な 財 源	府補 健康増進事業費等補助金（2/3）			304千円													
	繰入金 ふるさと応援基金繰入金			500千円													
評 価 ・ 課 題 等	○推進員が地域でウォーキングや体操等の教室を開催し、積極的に地区活動に取り組まれた。また、区や福祉委員と協力した活動も増えつつある。 ○地区活動が進みにくい地域もある中、推進員が地区活動に取り組みやすいよう、各地区への協力要請や、推進員の育成・支援の強化を図る必要がある。																
事 業 所 管 課		健康長寿福祉部／健康推進課															

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	04在宅健康管理システム事業	
細 事 業 名	01 在宅健康管理システム事業				決算書 P.182
総 合 計 画	計画項目	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
2,775千円	2,854千円	79千円	97.2%	2,854千円	
目的	市民が在宅で血圧測定を習慣化し、健康管理意識を高めるため、自動血圧計と専用の携帯端末機を貸出し、生活習慣病や早世、寝たきりなどの予防を推進していく。				
主要な事務・事業及び成果の概要	市民が在宅で自動血圧計と携帯電話網に接続した専用端末機を使い、健康情報（血圧、脈拍、体調、歩数、体重）を市のサーバーに送信する。送信されたデータを保健師等がモニタリングし、必要に応じて健康指導を実施した。 ○消耗品費（乾電池、コピー用紙、血圧管理ノート他）51千円 ○通信運搬費（結果レポート通知代）45千円 ○委託料（情報通信技術業務委託料）2,592千円 ○使用料（ソフトウェア使用料）87千円 【利用状況】 ・利用者数 延べ 120人 ・年間平均稼働率 27.9% ・生活習慣改善取組率 58% ・利用満足度 94% 【指導状況】 ・電話での保健指導 延べ 111件 ・メールによる保健指導 延べ 669件 ・訪問、来所による保健指導 延べ 107件				
主な財源	府補 未来づくり交付金（在宅健康管理システム事業）				1,000千円
評価・課題等	○平成27年度の月平均稼働率は27.9%と低率で推移した。血圧計の普及が進み、当事業に対する市民のニーズが低くなっていることが一因にあると考えられる。 ○当該事業の開始から5年経過し、各機器の耐用年数を迎えることにより、本事業は終了した。				
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課				

予 算 科 目		04衛生費		01保健衛生費		03母子保健費		01不妊・不育症治療費助成事業	
細 事 業 名		01 不妊・不育症治療費助成金						決算書	P.182
総 合 計 画		計画項目 10 大長寿を享受できる健康づくりの推進							
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①		執 行 率		(参考)当初予算額	
1,700千円		1,700千円		0千円		100.0 %		2,550千円	
目的	少子化対策の一環として、不妊・不育治療を受けている夫婦に対して、治療費用の一部を助成することにより、安心して治療が受けられる環境を整える。								
主要な事務・事業及び成果の概要	対象者 : 府内に1年以上居住し、かつ京丹後市内に住所を有する夫婦								
	治療対象 : ①一般不妊(医療保険適用の治療、人工授精)								
	②不育症(ヘパリン注射、不育症の原因検査)								
	③男性不妊(TESE、MESA)								
	＜不妊治療費助成金交付実績＞								
		H22	H23	H24	H25	H26	H27		
	実人数	34人	30人	32人	37人	34人	49人		
	件数	41件	35件	40件	43件	37件	63件		
	助成金額	704千円	1,018千円	1,179千円	1,262千円	1,274千円	1,700千円		
	＜人工授精に対する助成＞								
	H24	H25	H26	H27	＜不育症に対する助成＞				
	H26	H27							
実人数	14人	18人	20人	28人	実人数	0人	1人		
件数	16件	20件	22件	34件	件数	0件	1件		
助成金額	265千円	487千円	550千円	731千円	助成金額	0千円	9千円		
※人工授精及び不育症の数字は、上記「不妊治療費助成金交付実績」の内数。									
※男性不妊治療に対する申請は、0件。									
＜参考＞市民の京都府助成事業(特定不妊治療)利用状況									
	実人数	件数	助成額						
H27	44人	97件	13,068千円						
主な財源	府補 不妊治療費給付事業助成費補助金(1/2)								830千円
評価・課題等	○不妊・不育治療を受ける夫婦について、治療にかかる費用負担を軽減することができ、制度利用者のうち53.4%の方が妊娠された。 ○今後も、助成制度の広報について更に工夫するなど、積極的な周知を行う必要がある。								
事業所管課		健康長寿福祉部／健康推進課							

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	02母子健康支援事業
細 事 業 名	01 母子健康支援事業			決算書 P.182
総 合 計 画	計画項目 10 大長寿を享受できる健康づくりの推進			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
935千円	1,024千円	89千円	91.3 %	1,138千円
目的	妊娠期から出産、育児期を通じ、各種教室及びむし歯予防事業を実施し、子育て支援を行うことにより、子どもの健やかな成長・発達を促す。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○むし歯予防事業 400千円 子どもの健康な歯と口腔を保つため、歯科医師による講演会、歯科衛生士等による歯科指導、フッ化物洗口事業を実施した。 ・むし歯予防教室(保育所・幼稚園対象:21回) ・歯科講演会(2回) ・フッ化物洗口事業(保育所・幼稚園等:17施設、小学校:3施設) 歯科医師謝金(講演会・学習会・会議等) 88千円 歯科衛生士謝金(むし歯予防教室) 126千円 消耗品費、医薬材料費(洗口用薬剤) 186千円 ○母子等健康支援教室開催事業 535千円 妊娠、出産、子育て中の不安を軽減し、子どもの健やかな成長・発達を促すため、正しい知識の普及をはじめ、参加者同士の交流や子育て相談等を実施した。 ・臨床心理士による発達相談(5回) ・赤ちゃんサロン(24回:153人) ・両親学級(12回:71組:141人) ・離乳食教室(対象者:4~6か月児/12回:117人) ・離乳食キッチン(対象者:10~11か月児/5回:13人) 臨床心理士謝金 99千円 臨時保育士・歯科衛生士賃金 68千円 消耗品費 258千円 通信運搬費・印刷製本費 110千円			
主な財源	府補 万葉による子どものむし歯予防事業費補助金 205千円			
評価・課題等	○むし歯予防事業を通して保護者の意識が高まり、乳幼児期の子どものう歯保有率等は年々減少傾向にある。健康な歯と口腔を保つため、継続実施が必要である。 ○臨床心理士による発達相談を新たに実施し、より多くの相談者のニーズに対応することができた。 ○妊娠・出産後に実施する教室は参加希望者が多く、育児不安の軽減、育児不安による虐待を予防するために、今後も継続する必要がある。			
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	02母子健康支援事業	
細 事 業 名	02 妊婦健康支援事業				決算書 P.182
総 合 計 画	計画項目	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額
31,226千円		31,269千円	43千円	99.8 %	30,975千円
目 的	妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査を実施することにより、妊婦の健康づくりを支援し、疾病の早期発見、早期治療を促す。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	○妊婦健康診査 31,029千円 安心・安全に出産を迎えるため、妊婦健康診査費用の助成を行った。 ※妊婦健康診査受診券交付者数：415人 ・妊婦健康診査委託料 30,062千円 ・妊婦健康診査助成金（里帰り受診） 751千円 ・印刷製本費（受診券綴り） 101千円 ・消耗品費（母子健康手帳購入） 115千円 ○妊婦歯科健康診査事業 197千円 妊婦の口腔衛生の向上を図るために、1回の妊娠につき1回の歯科健康診査受診費用の一部助成を行った。 ※妊婦歯科健康診査受診者数：83人 ・妊婦歯科健康診査委託料 193千円 ・妊婦歯科健康診査助成金（里帰り受診） 4千円				
主 な 財 源					
評 価 ・ 課 題 等	○妊婦健康診査については、妊娠期に必要な定期検診を受診する機会となっており、妊婦が安心して妊娠、出産に臨むために有効な事業となっている。 ○妊婦歯科健診については、受診者数が少なく、さらに多くの妊婦に活用してもらえるように広報や周知方法の工夫が必要である。				
事 業 所 管 課		健康長寿福祉部／健康推進課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	02母子健康支援事業																																				
細 事 業 名	03 乳幼児健康診査事業			決算書 P.182																																				
総 合 計 画	計画項目	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進																																						
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額																																				
10,457千円	10,705千円	248千円	97.6 %	11,063千円																																				
目的	乳幼児期の疾病や障害の早期発見、治療、療育を促し、健やかな成長を支援するとともに、保護者に対する育児支援を行うことで育児不安の解消と虐待防止を図る。																																							
主要な事務・事業及び成果の概要	乳幼児の発達の節目である、4か月、10か月、1歳8か月、2歳6か月、3歳の時期に、健康診査、歯科健康診査及び保健指導を実施し、虐待予防を含めた乳幼児の健やかな成長・発達を促す支援を行った。 ＜乳幼児健康診査実績＞ <table><tr><td>対象</td><td>対象者数</td><td>実施回数</td><td>受診者数</td><td>受診率</td><td>前年度受診率</td></tr><tr><td>4か月児</td><td>369人</td><td>24回</td><td>364人</td><td>98.6%</td><td>98.0%</td></tr><tr><td>10か月児</td><td>382人</td><td>25回</td><td>374人</td><td>97.9%</td><td>98.9%</td></tr><tr><td>1歳8か月児</td><td>415人</td><td>26回</td><td>399人</td><td>96.1%</td><td>98.4%</td></tr><tr><td>2歳6か月児</td><td>392人</td><td>26回</td><td>387人</td><td>98.7%</td><td>97.2%</td></tr><tr><td>3歳児</td><td>401人</td><td>27回</td><td>388人</td><td>96.8%</td><td>98.2%</td></tr></table> ○臨時保健師、歯科衛生士賃金 1,892千円 ○消耗品費、医薬材料費等 674千円 ○案内郵送料 223千円 ○小児科医師、歯科医師委託料 7,668千円				対象	対象者数	実施回数	受診者数	受診率	前年度受診率	4か月児	369人	24回	364人	98.6%	98.0%	10か月児	382人	25回	374人	97.9%	98.9%	1歳8か月児	415人	26回	399人	96.1%	98.4%	2歳6か月児	392人	26回	387人	98.7%	97.2%	3歳児	401人	27回	388人	96.8%	98.2%
対象	対象者数	実施回数	受診者数	受診率	前年度受診率																																			
4か月児	369人	24回	364人	98.6%	98.0%																																			
10か月児	382人	25回	374人	97.9%	98.9%																																			
1歳8か月児	415人	26回	399人	96.1%	98.4%																																			
2歳6か月児	392人	26回	387人	98.7%	97.2%																																			
3歳児	401人	27回	388人	96.8%	98.2%																																			
主な財源	府補 7ヶ素による子どものむし歯予防事業費補助金			573千円																																				
評価・課題等	○乳幼児の発達の節目で、疾病や障害の早期発見を行い、早期支援へとつなぐことができた。保護者の育児不安に対しては、医師等の専門職からの適切な助言により、育児不安が軽減するよう努めた。 ○健診未受診者に受診勧奨を行ったが、受診に至らない場合は、他機関との連携により、健康状態の確認、虐待予防、孤立化予防、育児支援に努めるなど、全対象者の状況を把握することができた。																																							
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																																							

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	03発達障害児等早期発見・早期療育支援事業																									
細 事 業 名	01 発達障害児等早期発見・早期療育支援事業			決算書 P.184																									
総 合 計 画	計画項目 10 大長寿を享受できる健康づくりの推進																												
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額																									
441千円	515千円	74千円	85.6 %	515千円																									
目 的	発達障害等により集団生活に課題を抱える幼児の早期発見・療育の観点から、子ども・保護者・保育者が安心して就学を迎えられるよう関係者による適切な支援を行う。																												
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	○対象児：市内保育所・幼稚園に通う4歳児（実施人数：375人） （平成22年4月2日～23年4月1日生まれ） ○事業内容及び成果 保護者説明会を開催し、事業説明及び幼児期後半の子どもの発達と対応について健康教育を実施した。問診票を配布し100%の回収率を得られた。 一次スクリーニングと行動観察の結果により、事後支援として府発達相談・こどもクリニック、市すくすく子育て相談、保健師による個別相談を実施した。 また、事後フォローとして、保護者対象のほめ方教室を実施した。 <table border="1"> <caption>要支援児の支援方法（重複あり）</caption> <tr> <td>問題なし</td><td>190人</td><td>50.7%</td> <td>発達相談（保健所）</td><td>19人</td> </tr> <tr> <td>経過観察</td><td>124人</td><td>33.1%</td> <td>こどもクリニック（保健所）</td><td>8人</td> </tr> <tr> <td>要支援</td><td>36人</td><td>9.6%</td> <td>すくすく子育て相談（市相談員）</td><td>12人</td> </tr> <tr> <td>管理中</td><td>25人</td><td>6.6%</td> <td>丹後教育支援センター巡回相談</td><td>1人</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td> <td>ほめ方教室（市保健師）</td><td>4人</td> </tr> </table> ※経過観察：個人の特性はあっても、ごく軽微であり経過観察でよいもの ※管理中：既に医療機関・療育機関等でのフォローを受けているもの ○事業費 441千円 発達障害児等早期発見・早期療育発達支援相談員報酬（2人） 374千円 旅費（発達支援相談員費用弁償） 46千円 需用費（問診票・パンフレット用色上質紙ほか） 21千円				問題なし	190人	50.7%	発達相談（保健所）	19人	経過観察	124人	33.1%	こどもクリニック（保健所）	8人	要支援	36人	9.6%	すくすく子育て相談（市相談員）	12人	管理中	25人	6.6%	丹後教育支援センター巡回相談	1人				ほめ方教室（市保健師）	4人
問題なし	190人	50.7%	発達相談（保健所）	19人																									
経過観察	124人	33.1%	こどもクリニック（保健所）	8人																									
要支援	36人	9.6%	すくすく子育て相談（市相談員）	12人																									
管理中	25人	6.6%	丹後教育支援センター巡回相談	1人																									
			ほめ方教室（市保健師）	4人																									
主 な 財 源	府補 発達障害児等早期療育支援事業費補助金（1/2） 151千円																												
評 価 ・ 課 題 等	○支援の必要な幼児について、保護者、保育所・幼稚園職員及び専門機関と連携し、早期の発見・支援・療育に結びつけることができた。 ○事後のフォローとして実施したほめ方教室では参加者の子育ての資質向上につながった。 ○各機関において継続した子育て支援ができるように、関係者及び関係機関による企画運営会議の充実を図る必要がある。																												
事 業 所 管 課	健康長寿福祉部／健康推進課																												

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	04未熟児療育医療事業
細 事 業 名	01 未熟児療育医療事業			決算書 P.184
総 合 計 画	計画項目 11 地域包括医療・ケア体制の充実			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
1,708千円	2,733千円	1,025千円	62.4 %	2,733千円
目 的	身体の発育が未熟なまま生まれた、入院が必要な新生児の医療費を公費で負担し、健やかな成長を支援する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	○未熟児養育医療給付費		1,701千円	
	対象者：出生時に体重が2,000g以下の乳児で、生活力が特に薄弱で一定の症状に該当する場合			
	給付額：指定医療機関で入院治療にかかる一部負担金（食事療養費を含む）			
	給付方式：養育医療券（指定医療機関あり）交付による現物給付			
	＜平成27年度＞			
	申請人数	8人	現物給付額	
	診療を要した月	18月	医 療 費	1,543千円
	診療を要した日数	386日	食事負担額	158千円
	食事回数	609回	合 計	1,701千円
	○審査支払手数料		1千円	
	※審査支払手数料は請求の段階で府と折半した額が請求される。			
	○その他事務経費		6千円	
主 な 財 源	負担金	未熟児養育医療費負担金（保護者・子ども医療）		351千円
	国負	未熟児養育医療費負担金（1/2）		749千円
	府負	未熟児養育医療費負担金（1/4）		314千円
評 価 ・ 課 題 等	未熟児の養育に必要な医療の給付を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減が図られた。			
事 業 所 管 課		健康長寿福祉部／保険事業課		

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	04老人保健費	01健康相談・指導事業	
細 事 業 名	01 健康相談・指導事業				決算書 P.184
総 合 計 画	計画項目	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
1,866千円	2,087千円	221千円	89.4 %	2,163千円	
目的	生活習慣病をはじめとした疾病予防、介護予防などを目的に生活習慣を振り返り、早世予防、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	市民の健康増進や疾病予防を目的に、健康相談・保健指導・栄養指導事業を実施した。健康相談では、個別に具体的な生活改善指導を実施した。健康教育は、生活習慣病予防・心の健康・介護予防などの集団健康教育による普及啓発を実施した。				
	○健康相談				
	・ 結果報告会（平成27年7月7日～10月20日：42日間） 延べ54会場（3,446人の個別指導を実施）				
	・ 健康・栄養相談 延べ167人実施				
	○集団健康教育				
	・ 健康づくり講演会（実施日：5月9日（土）、参加者：198人） 演題：「聞いて納得！病気のしくみ～検診結果活用術～」 講師：久美浜病院 内科部長 瀬尾 泰正 医師				
	・ 出前講座 82回実施（参加者：1,591人）				
	・ 事業費 1,866千円				
	賃金（臨時保健師・栄養士） 687千円				
	報償費 28千円				
需用費（消耗品費・印刷製本費） 447千円					
役務費（通信運搬費） 596千円					
使用料（会場借上料） 5千円					
備品購入費 103千円					
主な財源	府補	健康増進事業費等補助金（2/3）			370千円
評価・課題等	○平成27年度から、健康診査の検査項目に腎機能検査、尿酸検査、推定1日食塩摂取量を追加したことに伴い、検診をテーマにした講演会を実施し、検診受検への動機づけにつなげるとともに、健康について関心を持っていただくことができた。 ○結果報告会でも、追加検査項目の結果指導を充実させ、自身の健康について振り返っていただく機会となった。				
事業所管課		健康長寿福祉部／健康推進課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	04老人保健費	02総合検診事業	
細 事 業 名	01 総合検診事業				決算書 P.184
総 合 計 画	計画項目 10 大長寿を享受できる健康づくりの推進				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
95,345千円	95,430千円	85千円	99.9 %	105,621千円	
目的	がんや疾病の早期発見を行うとともに、生活習慣病予防の意識を高め、生活習慣の改善につなげる。				
主要な事務・事業及び成果の概要	健康診査と各種がん検診などを同時に受けることができる総合検診として、地域の集会所等で実施した。				
	○実施期間：平成27年5月19日～9月8日				
	○実施日数及び会場数：49日間、28会場（保健センター及び集会所など）				
	○検診業務委託料 92,596千円				
	委託先：京都予防医学センター・京都府医師会				
	検診内容	対象者	受診者数	受診率	前年度比較
	健康診査	20～39歳	891人		△29人
		75歳以上	1,634人		37人
		生活保護ほか	21人		△88人
	肺がん	40歳以上	8,032人	43.1%	86人
	胃がん	40歳以上	4,310人	23.1%	△61人
	大腸がん	40歳以上	7,881人	42.3%	193人
	肝炎ウイルス	40歳以上	611人		21人
	前立腺がん	55歳以上	2,394人		147人
	腹部超音波	60・65・70歳	659人		△155人
子宮がん（集団）	20歳以上	2,821人	43.8%	△71人	
子宮がん（個別）	クーポン対象者	40人			
乳がん	40歳以上	2,794人	47.4%	△114人	
○賃金					21千円
○需用費（印刷製本、消耗品等）					703千円
○役務費（通信運搬費）					1,996千円
○会場使用料					29千円
主な財源	国補	感染症予防事業費等補助金（1/2）			717千円
	府補	健康増進事業費等補助金（基本額2/3）			2,665千円
	諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金（基本額2/3）			3,677千円
	諸収入	後期高齢者医療制度特別対策補助金（基本額2/3）			112千円
評価・課題等	○平成27年度から、健康診査の検査項目に腎機能検査、尿酸検査、推定1日食塩摂取量を追加し、受診勧奨にも努めたが、昨年度と比較し受診者数に大きな変化は見られなかった。				
	○未受診者対策について検討する中で、平成28年度の総合検診申込書を活用しアンケート調査を実施し、実態把握を行う予定であり、未受診理由を分析し、より効果的な受診率向上対策について検討をする必要がある。				
事業所管課		健康長寿福祉部／健康推進課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	04老人保健費	03機能訓練事業
細 事 業 名	01 機能訓練事業			決算書 P.186
総 合 計 画	計画項目 10 大長寿を享受できる健康づくりの推進			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
138千円	157千円	19千円	87.8%	104千円
目 的	疾病、外傷、老化等により心身機能が低下している方に対し、心身機能の維持回復に必要な訓練等を行うことで、閉じこもりを予防するとともに日常生活の自立を助ける。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	【あじさいの会】			
	リウマチ疾患のある方を対象に、疾病の自己管理や生活機能低下予防のための知識普及を目的とする。			
	実施回数：4回、参加実人数：8人、参加延べ人数：28人			
	※対象者のうち、65歳未満の経費は一般会計で執行し、65歳以上分は介護保険特別会計で執行			
	○事業費			
	賃金（介助員、臨時看護師）9千円			
主 な 財 源	報償費（歯科衛生士、運動講師、作業療法士等）4千円			
	需用費（消耗品費、燃料費、修繕費）98千円			
	役務費（通信運搬費、リフト車登録手数料、保険料等）20千円			
	公課費（自動車重量税）7千円			
評 価 ・ 課 題 等	○参加者の心身機能の現状維持を図ることができた。			
	○参加者が、高齢化・固定化する中、事業本来の目的と本事業に対する参加者のニーズが合わなくなってきているため、事業の見直しを検討する必要がある。			
事 業 所 管 課		健康長寿福祉部／健康推進課		

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	05予防費	01予防接種事業
細 事 業 名	01 予防接種事業			決算書 P.186
総 合 計 画	計画項目 10 大長寿を享受できる健康づくりの推進			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
75,053千円	79,794千円	4,741千円	94.0 %	110,793千円
目的	伝染の恐れがある疾病の発生及び感染予防、発病防止、症状の軽減、病気のまん延防止を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	予防接種法に基づき、子どもの定期予防接種及び風しん予防接種費用への助成を実施した。			
	【予防接種の種類・接種者数等】			
	区 分	対象延べ人数	接種延べ人数	接種率
	BCG	367人	348人	94.8%
	ポリオ（不活化ワクチン）	137人	59人	43.1%
	二種混合	680人	373人	54.9%
	三種混合 ※1	95人	2人	2.1%
	四種混合	1,474人	1,155人	78.4%
	麻しん風しん（1期）	472人	365人	77.3%
	麻しん風しん（2期）	423人	384人	90.8%
水痘	1,114人	793人	71.2%	
日本脳炎	3,680人	1,230人	33.4%	
ヒブ	1,674人	1,362人	81.3%	
小児用肺炎球菌	1,950人	1,362人	69.8%	
風しん		35人		
子宮頸がん ※2	4,395人	3人	0.1%	
	※1 平成24年11月からの四種混合ワクチンの導入に伴い、三種混合ワクチンからの移行期間の影響によるもの。			
	※2 子宮頸がん予防接種は、平成25年6月14日から積極的勧奨を差し控えている。			
	○事務経費（消耗品・役務費等） 340千円			
	○個別予防接種委託料 74,336千円			
	○予防接種助成金等給付費 377千円			
	（うち、風しん予防接種助成金 149千円）			
主な財源	府補	風しん予防接種助成事業補助金	74千円	
評価・課題等	予防接種法に基づく予防接種であり、更なる接種率の向上のために情報提供、接種体制の充実に努める必要がある。			
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	01地域医療対策事業	
細 事 業 名	01 地域医療体制整備補助金				決算書 P.186
総 合 計 画	計画項目	11 地域包括医療・ケア体制の充実			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額	
19,109千円	19,109千円	0千円	100.0 %	19,216千円	
目的	民間病院、診療所が行った施設整備等に対し支援を行うことにより、市民が安心して生活できる地域医療環境を確保する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	地域医療を支える病院や医療提供の困難な地域にある診療所について、施設・設備整備に係る借入金利子や医療確保に要する経費を補助対象として、補助金を交付した。				
	交付先医療機関及び交付額 (単位：千円)				
	法 人 ・ 医 療 機 関 名	所 在 地	交 付 額		
	特定医療法人三青園 丹後ふるさと病院	網野町小浜	4,109		
	医療法人愛心会 宇川診療所	丹後町久僧	15,000		
	合 計		19,109		
主な財源	府補	未来づくり交付金（地域医療体制整備補助金）			2,000千円
	市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）			15,000千円
評価・課題等	○地方の医療機関を取り巻く環境は、依然厳しいながらも、民間医療機関を支援することで、地域の医療環境が確保されている。 ○引き続き支援するとともに、丹後医療圏における医療体制確保のため、地域連携や国府等への要望等に努める必要がある。				
事業所管課		医療部／医療政策課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	01地域医療対策事業
細 事 業 名	02 公的病院等運営事業補助金			決算書 P.186
総 合 計 画	計画項目	11 地域包括医療・ケア体制の充実		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額
60,052千円	60,052千円	0千円	100.0 %	60,052千円
目的	地域において必要とされる不採算医療等の機能を担う公的病院等について、その機能を発揮する上で必要な経費の一部を補助する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	公的病院等が、救急医療を実施する上で必要となる医師・看護師等職員の当直及び待機に係る費用を対象経費として補助金を交付した。			
	交付先医療機関及び交付額 (単位：千円)			
	法 人 ・ 医 療 機 関 名	所 在 地	交 付 額	
	公益財団法人 丹後中央病院	峰山町杉谷	60,052	
	※対象経費：87,460千円			
主な財源				
評価・課題等	○市内救急医療体制は、民間1病院と市立2病院で行っている。救急医療を市立2病院のみで行うことは、地理、経費面、施設設備面及び人員面などから難しい状況であり、補助対象医療機関に貢献いただくことにより、救急医療体制を維持することができた。 ○引き続き支援を行い、救急医療体制を維持していく必要がある。			
事業所管課		医療部／医療政策課		

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	01地域医療対策事業			
細 事 業 名	03 休日応急診療事業			決算書 P.186			
総 合 計 画	計画項目	11 地域包括医療・ケア体制の充実					
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額			
3,777千円	3,777千円	0千円	100.0 %	3,777千円			
目的	休日における急病患者の診療業務について、医療機関に委託して実施することにより、市民が安心して生活できる診療体制を確保する。						
主要な事業・事業及び成果の概要	休日や年末年始における急病患者の診療業務について、市内の医療機関に委託し実施した。						
	・実施医療機関 丹後ふるさと病院、上田医院、中江医院、市立弥栄病院、市立久美浜病院 ・実施日数 71日（日曜、祝日、年末年始） ・診療時間 午前9時から正午、午後2時から午後5時 ・延患者数 1,119人 <table><tr><td>業 務 内 容</td><td>委託額</td></tr><tr><td>休日応急診療業務委託料</td><td>3,777千円</td></tr></table>				業 務 内 容	委託額	休日応急診療業務委託料
業 務 内 容	委託額						
休日応急診療業務委託料	3,777千円						
主な財源							
評価・課題等	○休日・年末年始において、応急的な診療を受けられる医療機関を確保することで、救急診療体制を維持することができた。 ○休日診療所を開設している他の自治体もあるが、本市では、開設に係る費用をはじめ、医師・看護師等の医療スタッフの確保が非常に難しい状況である。したがって、業務委託で実施することが費用対効果の面でも有効であると考えているが、実施協力医療機関の確保が難しくなっている。						
事業所管課	医療部／医療政策課						

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	02市立診療所繰出金				
細 事 業 名	01 市立診療所繰出金			決算書 P.186				
総 合 計 画	計画項目 11 地域包括医療・ケア体制の充実							
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額				
60,000千円	60,000千円	0千円	100.0 %	60,000千円				
目的	誰もが安心して医療を受けられる地域医療の維持・充実を図るため、市内に設置している診療所の運営に必要な経費の一部を繰り出す。							
主要な事業・事業及び成果の概要	診療所運営経費及び市債の元利償還金の一部を一般会計から繰り出し、国民健康保険直営診療所事業特別会計の適正な運営を行った。							
	該当診療所及び繰出額 60,000 千円							
	京丹後市国保直営大宮診療所	大宮町河辺	11,088 千円					
	京丹後市国保直営五十河診療所	大宮町延利	5,598 千円					
	京丹後市国保直営間人診療所	丹後町間人	36,199 千円					
	京丹後市国保直営野間診療所	弥栄町野中	2,580 千円					
	京丹後市国保直営佐濃診療所	久美浜町佐野	4,535 千円					
	<繰出金の内訳> (単位：千円)							
		大宮診療所	五十河診療所	間人診療所	野間診療所	佐濃診療所	合 計	備 考
	市債元利償還金	175		2,468		2	2,645	
賃金	4,989	948			184	6,121	事務員、看護師	
児童手当	250		20			270		
給料	5,674		26,000			31,674		
医療事務委託料			6,739			6,739		
清掃業務委託料					53	53		
医師派遣費		4,650		2,580	2,500	9,730	市立病院からの医師派遣	
建設改良費					1,796	1,796	医師住宅解体工事	
高度医療機器保守			972			972	CT	
合 計	11,088	5,598	36,199	2,580	4,535	60,000		
主な財源								
評価・課題等								
事業所管課	医療部／医療政策課							

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	03市立病院繰出金	
細 事 業 名	01 市立病院繰出金				決算書 P.188
総合計画	計画項目 11 地域包括医療・ケア体制の充実				
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
848,906千円	848,906千円	0千円	100.0 %	842,906千円	
目的	市立病院の運営を維持するため、必要な経費の一部を一般会計から病院事業会計に繰り出す。				
主要な事務・事業及び成果の概要	地方公営企業法第17条の2の規定による経費の負担の原則、「地方公営企業繰出金について」等に基づき算定した繰出基準額を基本とした一般会計繰出金。				
	繰出額 市立弥栄病院 425,511千円 市立久美浜病院 423,395千円 合計 848,906千円				
	＜繰出金の内訳＞ (単位：千円)				
		弥栄病院	久美浜病院	合計	備考
	救急医療の確保	165,687	136,275	301,962	
	保健衛生行政	25,189	26,323	51,512	
	研究研修費	5,252	5,296	10,548	
	保健・医療・福祉の共同研修等	6,000	0	6,000	
	医師確保対策	11,548	0	11,548	
	共済追加費用	11,793	8,860	20,653	
	基礎年金拠出金	43,042	35,902	78,944	
	児童手当	9,574	8,039	17,613	
	院内保育所の運営	4,412	2,159	6,571	
	公立病院改革プラン	562	257	819	特例債利息償還分
	建設改良（利息）	12,466	32,511	44,977	病院事業債・過疎債
	リハビリテーション医療	8,421	9,670	18,091	
	高度医療	5,298	23,907	29,205	
へき地医療確保	232	7,168	7,400		
建設改良（企業債償還元金）	113,547	125,528	239,075	病院事業債・過疎債	
建設改良費	988	0	988		
看護師等修学資金貸付金	1,500	1,500	3,000		
合計	425,511	423,395	848,906		
主な財源					
評価・課題等					
事業所管課	医療部／医療政策課				

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	04医療確保奨学金等貸与事業
細 事 業 名	01 医療確保奨学金貸与事業			決算書 P.188
総 合 計 画	計画項目	11 地域包括医療・ケア体制の充実		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額
15,600千円	15,600千円	0千円	100.0 %	20,400千円
目的	市立病院等の医療機関における医師の業務に従事する意思を有する者に対し、奨学金を貸与することにより市の医療体制の充実に必要な医師の養成及び確保を図る。			
主要な 事務・事業及び 成果の概要	将来、市立病院等の市内医療機関に医師として勤務する意思を有する医学生に対し、奨学金を貸与した。 ○医療確保奨学金貸与事業 15,600 千円 貸与者：6人 貸与期間：平成27年4月～平成28年3月 (内訳) ・一般医師志望者（小児科、産婦人科以外） 月額200千円×12月×4人＝9,600千円 ・小児科、産婦人科医師志望者 月額250千円×12月×2人＝6,000千円			
主な財源				
評価・課題等	○4人（平成26年度からの継続2人、新規2人）が市立病院に勤務し、医師体制の充実成果があがってきている。 ○課題として制度利用者の拡大に向け、広報を強化するとともに、制度利用者が市立病院等の市内医療機関で勤務しやすい体制を整える。			
事業所管課	医療部／医療政策課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	50医療対策一般経費	
細 事 業 名	01 医療対策一般経費				決算書 P.188
総 合 計 画	計画項目	11 地域包括医療・ケア体制の充実			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額	
374千円	544千円	170千円	68.7 %	700千円	
目 的	地域医療の充実と市立病院及び国民健康保険直営診療所の運営、調整のための一般経費				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	地域医療の充実と市立病院及び国民健康保険直営診療所の医療体制の拡充、経営改善等のために必要な業務を行い、所要の経費を支出した。 ○市立病院経営改善専門委員設置経費 132 千円 (年間勤務22日、委員1人) 報酬(9,000円/1日、6,000円/半日) ○その他の経費 242 千円 医療確保を目的として、京都府立医科大学等の大学関係者や医療関係者を訪問するための職員の出張経費等 ・職員出張のための普通旅費 128 千円 ・消耗品費(書籍、事務用品等) 45 千円 ・有料道路通行料、駐車場使用料 54 千円 ・研修参加負担金 15 千円				
主 な 財 源					
評 価 ・ 課 題 等	○市立病院経営改善専門委員からは、経営に対する助言や薬剤調達に関するコスト削減などの指導を受け、経営改善の一助となった。 ○引き続き医師の招へいに向けた情報収集や要望活動を展開し、さらなる医療提供体制の充実に努める必要がある。				
事 業 所 管 課	医療部/医療政策課				

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	01防疫対策事業													
細 事 業 名	01 防疫対策事業				決算書 P.188												
総 合 計 画	計画項目	6 美しい自然環境の次代への継承															
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額													
167千円	191千円	24千円	87.4 %	191千円													
目 的	京丹後市地域防災計画の災害応急対策計画に基づく防疫対策を実施するほか、害虫駆除用資材を調達するなどし、安全で快適な市民の生活を確保する。																
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	害虫（ハチ）駆除用の資材として、防護服を順次更新するとともにクリーニングを行い次年度の使用に備えた。 ○需用費 消耗品費（蜂用防護手袋・ビニール手袋）14千円 ○役務費 手数料（蜂防護等クリーニング代）34千円 ○備品購入費 備品購入費（ハチ防護服1着）119千円 ハチ防護服貸出実績（平成27年度） <table><tr><td>峰山市民局</td><td>90 回</td></tr><tr><td>大宮市民局</td><td>27 回</td></tr><tr><td>網野市民局</td><td>38 回</td></tr><tr><td>丹後市民局</td><td>9 回</td></tr><tr><td>弥栄市民局</td><td>33 回</td></tr><tr><td>久美浜市民局</td><td>36 回</td></tr></table>					峰山市民局	90 回	大宮市民局	27 回	網野市民局	38 回	丹後市民局	9 回	弥栄市民局	33 回	久美浜市民局	36 回
峰山市民局	90 回																
大宮市民局	27 回																
網野市民局	38 回																
丹後市民局	9 回																
弥栄市民局	33 回																
久美浜市民局	36 回																
主 な 財 源																	
評 価 ・ 課 題 等	○各市民局にハチの防護服を配置し、市民への貸出しを行うことで市民のハチの駆除作業時の安全を確保することができた。 ○防護服の摩耗や経年劣化が進んでいるものもあり、今後も順次更新していく必要がある。																
事 業 所 管 課	市民部／市民課																

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	02浄化槽設置整備事業	
細 事 業 名	01 浄化槽設置整備事業				決算書 P.188
総合計画	計画項目	18 きれいな水を美しくかえす上下水道の整備			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
2,028千円	2,071千円	43千円	97.9 %	4,423千円	
目的	浄化槽設置整備事業の対象区域において、浄化槽を設置する者に対して補助金を交付し、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○浄化槽設置整備事業費補助金				1,938千円
	浄化槽設置整備事業費補助金 (単位：千円)				
	人 槽	設置数	1基あたり補助額	補助総額	
	5人槽	3基	352	1,056	
	7人槽	2基	441	882	
	10人槽	0基	588	0	
計	5基		1,938		
	○京都府浄化槽推進協議会会費及び負担金				88千円
	○京都府浄化槽推進協議会総会への出席にかかる普通旅費				2千円
主な財源	国補	循環型社会形成推進交付金 (1/3)			1,292千円
	府補	浄化槽設置整備事業費補助金 (1/3)			646千円
評価・課題等	○浄化槽設置整備事業の対象区域において、浄化槽設置に係る経費に対して補助金を交付したことで、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図ることができた。 ○同区域において、さらに、浄化槽設置による水洗化を推進することにより、公共用水域の水質保全と生活環境の一層の改善を図る必要がある。				
事業所管課		上下水道部／下水道整備課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	03環境美化保全対策事業
細 事 業 名	01 環境保全活動事業			決算書 P.188
総 合 計 画	計画項目	6 美しい自然環境の次代への継承		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
806千円	908千円	102千円	88.7 %	908千円
目的	市域の自然環境保全や美化活動を支援し、市、事業者及び市民が一体となって美しいふるさとづくりに向けた取組を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○補助金 ・美しいふるさとづくり条例環境保護団体活動補助金 86 千円 ※条例に基づく特別保護区域である琴引浜において、環境保護団体が実施するパトロール活動を支援した。 (海水浴シーズンの土日祝日、2人1組で午前・午後の2回/日) ・はだしのコンサート2015補助金 720 千円 ※「鳴り砂の浜」の保全活動について、その必要性を理解していただく契機として「拾った海岸ゴミが入場券」というユニークな形態で地域主体の実行委員会がコンサートを開催している。 自然環境保全についてのメッセージと本市の魅力を市の内外に発信するイベントを支援した。 実施日：平成27年6月7日（日） 参加者：約2,000人			
主な財源				
評価・課題等	○本市における自然環境保全の代表的な存在である「鳴り砂の浜」において、地域が主体的に行う啓発イベントや、環境保護団体の活動支援を行うことで、市内外に向けて自然豊かな市の魅力と環境保全に対するメッセージを広くアピールすることができた。 ○環境保護団体の高齢化に伴い、次代を担うスタッフの確保・養成が課題となっている。 ○美しいふるさとづくり条例に基づく自然環境保全活動と意識啓発を市内全域に拡大していくための取組が必要である。			
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	03環境美化保全対策事業
細 事 業 名	02 不法投棄対策事業			決算書 P.188
総 合 計 画	計画項目	6 美しい自然環境の次代への継承		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
239千円	368千円	129千円	64.9 %	368千円
目的	不法投棄防止対策として、不法投棄抑止啓発看板設置等による啓発のほか、行為者特定及び投棄物の撤去・回収を実施し、環境の保全を図る。			
主要な 事務・事業 及び成果の 概要	各地区と協力して看板設置を行うとともに、不法投棄物から行為者の特定に努め、特定に至ったケースについては警察に移送した。また、更なる不法投棄の誘発を防ぐため、廃棄物の撤去・回収にあたった。 (市民部回収件数 48件 うち警察引渡し案件 1件) ○需用費 消耗品費 110千円 (不法投棄防止看板10枚、カメラ10台、ブルーシート10枚) ○役務費 手数料 (タイヤ 244本処分費) 129千円			
主な 財源				
評価・課題等	○地区との協働により、啓発看板の設置及び不法投棄物の撤去を行うことで、地域ぐるみでの不法投棄防止対策ができ、もって地域の環境保全に努めることができた。 ○京都府との共同事業により、防止ネットの設置及び小学生による啓発標語の掲示を行うことで、再発防止効果のある取組ができた。 ○継続的に「排出者責任」及び「不法投棄の違法性」について周知を図り、不法投棄の発生防止に努める必要がある。			
事業所管課	市民部／市民課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	04狂犬病予防・動物管理事業
細 事 業 名	01 狂犬病予防・動物管理事業			決算書 P.188
総 合 計 画	計画項目	6 美しい自然環境の次代への継承		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
682千円	734千円	52千円	92.9 %	727千円
目的	狂犬病予防法に基づく狂犬病予防注射を実施するとともに、ペットの飼い主に対し、適正飼育及び動物管理マナーの啓発を行い、動物愛護と公衆衛生の向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	京都府獣医師会とともに、市内50会場で狂犬病予防の巡回予防接種を実施した。また、年度中の未接種飼い主に対しては1月に通知を行った（714頭）。 ペットの放し飼いやフンの放置といった動物管理に対する苦情に対して、京都府と連携して飼い主に個別対応し、啓発を行った。 京都府と連携し、動物ふれあい教室及び動物愛護教室を行い、動物との共生について学習を行った。（10月：網野北小学校）			
	○旅費	11千円		
	・職員出張旅費			
	○需用費	117千円		
	・消耗品費（愛犬手帳、犬鑑札、狂犬病予防注射済票 狂犬病予防接種済票交付申請書4,000枚）	76千円		
	・印刷製本費（狂犬病予防注射案内用封筒4,000枚）	41千円		
	○役務費	203千円		
	・通信運搬費（狂犬病予防注射案内及び再通知郵送料）			
	○委託費	351千円		
	・狂犬病予防注射済票引渡事務委託料			
※犬の登録件数及び狂犬病予防注射実施件数（平成27年度末）				
犬の登録数		2,475頭	狂犬病予防注射接種率 H27：77.5% H26：78.0% H25：77.1%	
狂犬病予防注射接種件数		1,917頭		
内 訳	市巡回接種	769頭		
	獣医委託	1,142頭		
	その他（市外）	6頭		
主な財源	府補 動物管理指導費補助金	136千円		
	手数料 犬の登録注射業務手数料	546千円		
評価・課題等	○狂犬病予防注射未接種犬の飼い主へ接種督促通知を送付することで、接種率の向上と登録原簿の的確な更新と事務の効率化ができた。 ○狂犬病予防注射の必要性及びペットの適正な飼い方について引き続き周知を行うことで、接種率の向上及び動物管理マナーの向上を図る必要がある。			
事業所管課		市民部／市民課		

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	05堀川浄化施設維持管理事業
細 事 業 名	01 堀川浄化施設維持管理事業			決算書 P.190
総 合 計 画	計画項目 6 美しい自然環境の次代への継承			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額
1,389千円	1,420千円	31千円	97.8 %	1,420千円
目 的	堀川浄化施設の維持管理を行い、久美浜町一区内約65世帯の生活雑排水が流入する「堀川（法定外河川）」の河川水を浄化し、久美浜湾の水質保全を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	堀川浄化施設の維持管理として、施設の保守点検、消毒剤の充填、水路の清掃、水質検査及び汚泥の処理等を行った。 ○需用費 295千円 ・光熱水費（堀川浄化施設の電気・水道料金） 287千円 ・修繕料（浄化槽給水管の漏水修理代） 8千円 ○委託料 1,094千円 ・堀川浄化施設保守管理委託料（施設保守点検、消毒剤充填、水路清掃、水質検査、汚泥処分等） 【堀川浄化施設】 久美浜町西本町区に位置する堀川河口部から、上流部約180mの範囲における約65世帯の生活雑排水を浄化処理し、久美浜湾へ放流する施設。 （平成6年設置） （200人槽、長期ばっ気式、処理能力：40m³/日、用途：雑排水下水路）			
主 な 財 源				
評 価 ・ 課 題 等	○本事業により、久美浜湾に直接流入する家庭雑排水を浄化処理し、久美浜湾の環境保全を図ることができた。 ○公共下水への接続の推進と並行して、本施設の適切な維持管理を行っていくことが必要である。			
事 業 所 管 課	市民部／市民課			

予 算 科 目	04衛生費		01保健衛生費		07環境衛生費		06環境保全意識啓発事業	
細 事 業 名	01 環境保全意識啓発事業						決算書	P.190
総 合 計 画	計画項目	6 美しい自然環境の次代への継承						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額
184千円		222千円		38千円		82.8 %		222千円
目的	市民が京丹後市の自然に触れる機会を提供し、市民の自然環境保全への意識の向上を図る。							
主要な事務・事業及び成果の概要	○ブナ林観察会26 千円 夏の内山ブナ林観察会：平成27年8月5日（水） 講師（ブナ林案内人）：4人 参加者：小学生34人、高校生ボランティア9人 ・講師謝金 4,000円（半日）×3人12 千円 紅葉の内山ブナ林観察会：平成27年11月16日（日） 講師（ブナ林案内人）：3人 参加者：15人 ・講師謝金 7,000円×2人14 千円 ○子ども体験活動8 千円 環境学習（水質・水生生物調査）の実施 ※小学生対象 平成27年 7月29日（水） 峰山町鱒留川（32人） 8月 6日（水） 峰山町鱒留川（47人） ・消耗品（環境学習資材）8 千円 ※講師は、府職員の「出前語らい・専門職員派遣」を活用 ○丹後の豊かな環境づくり推進会議150 千円 ・バス運転委託料（丹後環境シンポジウム発表児童送迎）32 千円 ・丹後の豊かな環境づくり推進会議負担金118 千円 （主な事業） 夏休み少年少女エコ体験ツアー（平成27年8月19日：野田川ワオラストパーク） 丹後環境シンポジウム（平成28年2月5日：アグリセンター大宮）							
主な財源								
評価・課題等	○今年度は、小学生対象の観察会も実施し、本市特有の豊かな自然環境を再発見、再認識する環境教育の場を提供することができた。 ○京都府や教育委員会と連携し自然体験活動を開催したことにより、効果的な環境保全意識の高揚・啓発の実現とともに経費節減を図ることができた。							
事業所管課		農林水産環境部／環境バイオマス推進課						

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	07浄化槽整備事業特別会計繰出金	
細事業名	01 浄化槽整備事業特別会計繰出金			決算書 P.190	
総合計画	計画項目 18 きれいな水を美しくかえす上下水道の整備				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
77,000千円	77,000千円	0千円	100.0 %	77,000千円	
目的	総務省から示される下水道事業に対する繰出基準を参考に浄化槽整備事業特別会計へ繰出金を支出することにより、同会計の経営の健全化を促進し経営基盤の強化を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	一般会計から浄化槽整備事業特別会計に対して繰出金を支出した。				
	[繰出金の主な内容] (単位：千円)				
	項目	浄化槽	備考		
	基準内	起債元金償還金	0		
		起債利子償還金	0		
		分流式下水道等経費	5,122		
		高資本対策経費	0		
		児童手当	210		
	小計	5,332			
	基準外	起債元金償還金	4,922		
施設維持管理費		66,200	浄化槽維持管理基数1,213基		
建設改良費		546	浄化槽設置工事ほか		
小計		71,668			
合計	77,000				
主な財源					
評価・課題等					
事業所管課	上下水道部／下水道整備課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	08地球温暖化防止対策推進事業
細事業名	02 省エネ・グリーン化推進事業			決算書 P.190
総合計画	計画項目 6 美しい自然環境の次代への継承			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
5,154千円	5,154千円	0千円	100.0 %	5,154千円
目的	環境配慮型の低炭素社会実現を目指すため、市が管理する防犯灯及び道路灯のLED化を推進し、維持管理経費削減及び省エネによる地球温暖化防止を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○使用料及び賃借料 5,154 千円 ・市管理分のLED防犯灯及び道路灯のリース料 (期間内における維持管理を含めた包括的サービスを含む) 防犯灯：1,697基 道路灯：147基 計：1,844基 リース開始：平成26年3月1日 リース期間：120か月（10年間） リース料：429,450円/月 【LED化による削減効果見込】 ■年間消費電力削減見込量 防犯灯 124,610 KWh 道路灯 112,336 KWh ■年間温室効果ガス削減見込量 防犯灯 66.17 t-CO₂ 道路灯 59.65 t-CO₂			
主な財源				
評価・課題等	○広く市民の目に触れる防犯灯・道路灯を消費電力の少ないLEDへ切り替えたことにより、温室効果ガスの排出を抑制するとともに、市民・事業者へ向け、省エネ機器の普及をPRすることができた。 ○国の温室効果ガスの排出抑制目標に従い、コストと歳出削減とのバランスに配慮しながら、公共施設への省エネでCO₂削減効果の高い機器等の導入を促進していく必要がある。			
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	08地球温暖化防止対策推進事業
細 事 業 名	03 避難施設緊急時電力確保促進事業			決算書 P.190
総 合 計 画	計画項目	7 新エネルギーの有効活用		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額
104,219千円	104,221千円	2千円	99.9 %	0千円
目 的	市地域防災計画で避難所指定された施設に太陽光発電設備と蓄電池等の設置を行うこととて、災害発生時等の停電時に最低限必要な電力及び避難所機能を確保する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	◎避難施設太陽光発電等整備 整備場所：峰山中学校、宇川小学校、大宮第一小学校 ○消耗品費（貼付用プレート作成）37千円 ○設計監理委託料6,024千円 ○工事請負費97,970千円 「避難施設緊急時電力確保設備整備工事」 （10kW太陽光発電、16.8kWh蓄電池、非常用コンセント等） ・峰山中学校29,700千円 ・宇川小学校28,633千円 ・大宮第一小学校29,448千円 「太陽光発電量計測・表示装置設置工事」 ・峰山中学校473千円 ・宇川小学校400千円 ・大宮第一小学校716千円 「ソーラーLED誘導灯設置工事（6基）」8,600千円 ・峰山中学校、大宮第一小学校、網野南小学校、宇川小学校、弥栄小学校、久美浜中学校 各校1基 ○備品購入費（LED投光器3台）188千円			
主 な 財 源	国補 府補	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 避難施設緊急時電力確保促進事業費補助金		62,004千円 38,868千円
評 価 ・ 課 題 等	○峰山、丹後、大宮町域の小・中学校3か所に太陽光発電及び蓄電池設備等の整備を行い、全6町域各1か所の避難施設における自立型の非常用電源の確保を完了できた。 ○通常時は、学校施設の日中電気代の削減に貢献するとともに、電力発電状況等表示機器の設置により、児童や保護者に日常から環境意識の啓発を行う環境整備ができた。			
事 業 所 管 課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	09IJI福祉・セクター管理運営事業																																	
細 事 業 名	01 IJI福祉・セクター管理運営事業			決算書 P.190																																	
総 合 計 画	計画項目	9 循環型社会の構築																																			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額																																	
16,043千円	16,073千円	30千円	99.8 %	16,073千円																																	
目的	生ごみ資源化や環境保全型農業の推進など、『環境循環都市』の実現に向けた中核施設であるエコエネルギーセンターの維持管理を行う。																																				
主要な事務・事業及び成果の概要	○火災保険料 103 千円																																				
	○指定管理委託料（委託期間：平成25～27年度） 13,000 千円																																				
	○長期修繕計画作成委託料 2,940 千円																																				
	※ 運用開始から10年が経過したエコエネルギーセンターについて、引き続き安全で効率的な施設運用を期するため、2045年（平成57年）までの今後30年間についての長期修繕の見込み等の計画を作成した。																																				
	《施設運営状況》																																				
	<table><tr><td colspan="2"></td><td>H27年度</td><td>H26年度</td></tr><tr><td rowspan="4">見学者数（人）</td><td>市内</td><td>120</td><td>71</td></tr><tr><td>市外</td><td>242</td><td>266</td></tr><tr><td>国外</td><td>2</td><td>41</td></tr><tr><td>計</td><td>364</td><td>378</td></tr><tr><td colspan="2">原料受入量（t）</td><td>4,328</td><td>3,462</td></tr><tr><td colspan="2">発電量（kWh）</td><td>728,360</td><td>592,140</td></tr><tr><td colspan="2">売電量（kWh）</td><td>530,849</td><td>427,970</td></tr><tr><td colspan="2">液肥利用量（t） ※</td><td>7,733</td><td>5,156</td></tr></table>						H27年度	H26年度	見学者数（人）	市内	120	71	市外	242	266	国外	2	41	計	364	378	原料受入量（t）		4,328	3,462	発電量（kWh）		728,360	592,140	売電量（kWh）		530,849	427,970	液肥利用量（t） ※		7,733	5,156
			H27年度	H26年度																																	
	見学者数（人）	市内	120	71																																	
		市外	242	266																																	
		国外	2	41																																	
計		364	378																																		
原料受入量（t）		4,328	3,462																																		
発電量（kWh）		728,360	592,140																																		
売電量（kWh）		530,849	427,970																																		
液肥利用量（t） ※		7,733	5,156																																		
※ 4月1日から翌3月31日までの実績																																					
主な財源																																					
評価・課題等	○水稻を中心に液肥利用量を7,000t以上に拡大することができた。また、運営コスト削減及び売電収入の増加により前年よりも収益を改善し、効率的な施設運営を進めることができた。 ○稼働より10年を経過し施設の老朽化が進行していることから、今後は効率的・効果的な施設修繕に考慮しながら、センターの安定的な維持管理に努めていく必要がある。																																				
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課																																				

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	10水洗化推進支援事業		
細 事 業 名	01 水洗化推進支援事業			決算書 P.190		
総 合 計 画	計画項目 18 きれいな水を美しくかえす上下水道の整備					
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額		
30,670千円	30,700千円	30千円	99.9 %	30,700千円		
目的	既存住宅において新規排水設備工事を行った者に対して補助金を交付することにより、既存住宅の水洗化の促進及び地域経済の活性化を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	公共下水道事業、集落排水事業及び市設置型浄化槽整備事業の区域内の既存住宅において市内指定業者を利用して新規排水設備工事を行った者に対して、その工事費用の一部を補助した。					
	平成27年度 補助金交付実績 (単位：件)					
	公 共 下 水 道		集 落 排 水		浄 化 槽	合 計
	公 共	特 環	農 排	漁 排		
	峰山	73			21	94
	大宮		31	1	6	38
	網野	39	14		8	61
	丹後		16		7	23
	弥栄			7		7
	久美浜		41	9	29	79
合計	112	102	17	0	71	302
	交付件数 補助単価 補助金額					
一般世帯等	193 件 × 50 千円 =		9,650 千円			
高齢者世帯	100 件 × 200 千円 =		20,000 千円			
グループ補助 (3グループ)						
一般世帯	6 件 × 70 千円 =		420 千円			
高齢者世帯	3 件 × 200 千円 =		600 千円			
合 計	302 件		30,670 千円			
主な財源	府補 未来づくり交付金 (水洗化推進支援補助金)			10,512千円		
評価・課題等	○新たにグループ補助制度を施行し制度の拡充や周知を行った結果、補助金交付件数は前年度より105件、高齢者世帯においては47件の増加となった。また、制度利用者へのアンケート調査も行った結果、支援制度が接続増加の一助となっていることが分かった。 ○高額な下水道等への接続費用が未接続の主な要因であるため、今後、普及推進員による戸別訪問を中心に積極的にグループ補助金制度等を周知するとともに、早期から資金計画ができるようアドバイザー制度の活用も含め、接続率向上に努める。					
事業所管課	上下水道部／普及推進・料金課					

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	11環境基本計画推進事業
細 事 業 名	01 環境基本計画推進事業			決算書 P.190
総 合 計 画	計画項目 6 美しい自然環境の次代への継承			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
124千円	220千円	96千円	56.3 %	220千円
目的	環境基本計画推進委員会を設置し、計画に基づく施策の推進及び進捗管理を行うとともに市民・事業者・市民団体・旅行者等への環境保全意識等の普及・啓発を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○環境基本計画推進委員会 124 千円 委員16人×2回開催 (平成27年8月10日、平成28年1月15日) ・委員謝金 108 千円 ・委員費用弁償 16 千円 ※計画に基づく施策の推進及び進捗管理のほか、前年度・当年度・翌年度の関連予算要求内容、決算の状況、「水をつなぐクリーン大作戦」、「生ごみ資源化の推進」等について審議			
主な財源				
評価・課題等	○河川の流域全体で環境について考える契機とする「水をつなぐクリーン大作戦」を、ウルトラマラソン前日に実施し、環境保全意識等の普及・啓発を推進することができた。 ○重点プロジェクト未着手の項目については、推進委員会で検証しながら、計画期間内での目標の達成に向けて、引き続き総合的に取り組んでいく必要がある。			
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	12海岸漂着物回収処理事業																		
細 事 業 名	01 海岸漂着物回収処理事業			決算書 P.190																		
総 合 計 画	計画項目	6 美しい自然環境の次代への継承																				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率 (参考) 当初予算額																		
13,008千円		13,025千円	17千円	99.8 % 13,808千円																		
目 的	京都府の補助事業を活用し海岸漂着物等の回収・処理事業を実施することで、海岸の良好な景観及び環境の保全を図る。																					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	京都府の補助事業を活用し地元区等に海岸清掃を委託し、海岸の清潔保持と良好な景観の維持を確保するとともに、回収した海岸漂着物を市外で処理することで最終処分場の埋立量の抑制を図った。																					
	○旅費			3千円																		
	・職員出張旅費																					
	○役務費			6,278千円																		
	・廃棄物受入承認手数料等			28千円																		
	・海岸漂着物処理手数料			6,250千円																		
	○委託料			6,727千円																		
	・海岸漂着物回収処理委託料（市管理海岸分）			1,980千円																		
	・海岸漂着物回収処理委託料（府管理海岸分）			4,747千円																		
	【回収事業実施海岸】 （市管理海岸については9/10補助、府管理海岸については10/10補助）																					
<table><tr><td>地 域</td><td>海 岸 名</td><td>管理区分</td><td>担当課</td></tr><tr><td>久美浜町</td><td>箱石湊宮葛野海岸</td><td rowspan="2">府管理海岸</td><td rowspan="5">スポーツ観光 ・交流課</td></tr><tr><td rowspan="2">網野町</td><td>浜詰海岸、浅茂川海岸</td></tr><tr><td>琴引浜（遊・掛津）</td><td>市管理海岸</td></tr><tr><td rowspan="3">丹後町</td><td>袖志海岸</td><td>市管理海岸</td></tr><tr><td>後ヶ浜海岸、上野平海岸（上野・平）</td><td rowspan="2">府管理海岸</td><td rowspan="2">管理課</td></tr><tr><td>尾和海岸、岩田海岸</td></tr></table>				地 域	海 岸 名	管理区分	担当課	久美浜町	箱石湊宮葛野海岸	府管理海岸	スポーツ観光 ・交流課	網野町	浜詰海岸、浅茂川海岸	琴引浜（遊・掛津）	市管理海岸	丹後町	袖志海岸	市管理海岸	後ヶ浜海岸、上野平海岸（上野・平）	府管理海岸	管理課	尾和海岸、岩田海岸
地 域	海 岸 名	管理区分	担当課																			
久美浜町	箱石湊宮葛野海岸	府管理海岸	スポーツ観光 ・交流課																			
網野町	浜詰海岸、浅茂川海岸																					
	琴引浜（遊・掛津）	市管理海岸																				
丹後町	袖志海岸	市管理海岸																				
	後ヶ浜海岸、上野平海岸（上野・平）	府管理海岸		管理課																		
	尾和海岸、岩田海岸																					
主 な 財 源	府補 海岸漂着物地域対策推進事業補助金（10/10、9/10）			12,640千円																		
評 価 ・ 課 題 等	○市内11海岸で海岸清掃を行い、景観保護と環境保全を行うことができた。 ○事業継続と財源確保に向けて、国、府に対して支援を求めていく必要がある。																					
事 業 所 管 課		市民部／市民課																				

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	12海岸漂着物回収処理事業
細 事 業 名	02 海岸漂着物発生抑制事業			決算書 P.190
総 合 計 画	計画項目 6 美しい自然環境の次代への継承			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
220千円	276千円	56千円	79.7 %	283千円
目的	京都府の補助事業を活用し海岸漂着物等の発生抑制の啓発事業を実施することで、良好な景観及び環境保全につなげるとともに市民の海岸の保全意識の向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	スポーツGOMI拾い大会を通して、海岸漂着物の量や品目、またその発生源について認識することにより、海岸の環境保全に関する意識を高め、その発生抑制に資することを目的として、京丹後市立丹後中学校1年生（54人）の総合的学習の一環として実施した。 ・開催日：平成27年10月8日（木） ・会 場：丹後町平海岸 ・内 容：ごみ拾い（スポーツ形式）・環境学習・ごみの分別学習 ○報償費 41千円 ・表彰者記念品 7千円 ・大会等参加者記念品 34千円 ○需用費 4千円 ・消耗品費 3千円 ・燃料費 1千円 ○委託費 175千円 ・イベント管理運営委託料			
主な財源	府補 海岸漂着物地域対策推進事業補助金（9/10）			197千円
評価・課題等	○チーム対抗形式でごみ拾いを実施することで、ふるさとの海の清掃活動を楽しみながら海岸保全意識の啓発ができた。 ○発生抑制に向けた意識啓発は、今後も長期的に継続していく必要がある。			
事業所管課	市民部／市民課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	13資源循環推進事業	
細事業名	01 資源循環推進事業				決算書 P.192
総合計画	計画項目	9 循環型社会の構築			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
5,736千円		5,816千円	80千円	98.6 %	6,466千円
目的	エコエネルギーセンターを活用した市内全域の生ごみ資源化など、地域内資源循環及び液肥活用による資源循環型農業を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○生ごみ資源化推進5,449 千円 ・消耗品費（液肥タンク設置費用等）181 千円 ・消耗品費（生ごみ収集専用袋371,000枚作成）2,586 千円 ・液肥タンク液肥運搬手数料19 千円 ・生ごみ資源化推進業務委託料1,066 千円 ※生ごみ分別アンケートの実施及び分析、生ごみ分別指導、啓発、説明会、資料作成、出前講座の実施等の業務をNPO法人エコネット丹後へ委託して実施 ・生ごみ処理委託料1,597 千円 【家庭生ごみ】 対 象：11地区1,041世帯 内 容：家庭生ごみを所定の方法で分別収集し資源化する 実 績：36t／年 【学校等生ごみ】 対 象：市内全保育所・幼稚園・小学校・中学校 内 容：給食調理の際に発生する生ごみを分別収集し資源化する 実 績：30t／年 ○廃食用油回収推進287 千円 ・補助金（交付先：NPO法人エコネット丹後） ※非常設方式（月1回の有害ごみステーションでの回収）から常設方式（回収容器の常時設置）への回収方法の変更に伴う資材購入に対する補助				
主な財源					
評価・課題等	○集落等を対象に普及啓発を推進した結果、生ごみ分別資源化参加対象世帯数を1000戸以上に増加させることができ、地域内資源循環を推進することができた。 ○市内全域生ごみ資源化の実現に向け、市民への普及啓発や説明会実施による対象集落の拡大、参加世帯率の向上とともに、受入れ設備の改修などを行う必要がある。				
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課				

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	14再生可能エネルギー推進事業	
細 事 業 名	01 再生可能エネルギー推進事業				決算書 P.192
総 合 計 画	計画項目	7 新エネルギーの有効活用			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
1,382千円	1,425千円	43千円	96.9 %	2,315千円	
目的	地域における再生可能エネルギーの促進体制を構築し、地域が主体的に再生可能エネルギーを活用するための環境整備を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○政策企画委員報酬				100 千円
	「地域経済の活性化モデル開発に関すること」を担当 大久保 和孝 氏 任期：H27.4.1～H28.3.31				
	○再生可能エネルギー導入促進会議				77 千円
	導入基本方針に基づき、再生可能エネルギー事業の事業化等を推進 委員9人×3回開催				
	・再生可能エネルギー導入促進会議委員謝金				4 千円
	・委員費用弁償				73 千円
	○ハンズオン支援業務				897 千円
	事業化検討及び推進等に係る実践活動支援 (会議運営支援/地域エネルギー事業 試案作成及び検討) コミュニティ形成/資金計画・経済性/環境適応 3分野/3機関				
	・再生可能エネルギー導入促進ハンズオン支援業務委託料				897 千円
	○その他経費				308 千円
・職員旅費				272 千円	
・有料道路通行料、駐車場使用料				36 千円	
主な財源					
評価・課題等	○再生可能エネルギー導入促進会議を編成し、再生可能エネルギー導入促進基本方針に沿った事業化検討及び合意形成を進めることで、再生可能エネルギーの導入及び地産地消を進める環境を整えることができた。 ○電力システム改革の進捗と地域実態に応じた普及策の反映を推進するため、地域主体による再生可能エネルギーの地域循環形成と利活用推進に向けた検討及び合意形成、並びに環境整備の方向性を今後も継続していく必要がある。				
事業所管課	農林水産環境部/環境バイオマス推進課				

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	14再生可能エネルギー推進事業
細 事 業 名	02 利活用推進プラットフォーム事業			決算書 P.192
総 合 計 画	計画項目 7 新エネルギーの有効活用			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
24,175千円	24,184千円	9千円	99.9 %	10,652千円
目的	地域主導による再生可能エネルギー事業の創出・展開を進める支援及び環境をプラットフォームとして整え、再生可能エネルギーの利活用を広く推進する。			
主要な 事務・事業 及び成果 の概要	○地産地消型再生可能エネルギー面的利用等の推進 9,390 千円 ※民間企業と共同申請（代表者は京丹後市）を行った「地産地消型再生可能エネルギー面的利用等推進事業」の採択を受け、地産地消型の再生可能エネルギー利用の仕組み実現に向けた事業化可能性調査を実施。 ・報償費（検討委員会謝金6人、調査研究員謝金6人） 2,377 千円 ・旅費（調査研究員費用弁償、普通旅費） 436 千円 ・印刷製本費（調査成果報告書 印刷製本 70冊） 128 千円 ・委託料（需要家消費行動、ファイナンス等 各調査） 3,197 千円 ・補助金（共同申請者2社への補助金確定配分） 3,252 千円 ○EV等充電ステーション整備 市内7か所 13,581 千円 ※年度途中で新たに補助対象となった運営保守等設備経費について、工事請負費の増額により対応したほか、EV充電ステーション供用開始後の管理経費等を支出。 ・光熱水費（EV等充電ステーション電気料金） 836 千円 ・役務費（管理監視システム通信運搬費） 26 千円 ・委託料（道の駅てんきてんき丹後 看板設置） 21 千円 ・工事請負費（保守点検等付機種への変更に伴う増額分） 12,698 千円 ○再生可能エネルギー等導入促進支援補助金 1,204 千円 再生可能エネルギー利用設備導入に対する補助金の交付 15件 ・太陽光発電設備 9件(33.2kW) / 木質ストーブ 6件 1,204 千円			
主な 財源	国補	地産地消型再生可能エネルギー面的利用等推進事業費補助金	9,078千円	
	諸収入	次世代自動車充電インフラ整備促進事業費補助金	8,525千円	
	繰入金	市民太陽光発電事業特別会計繰入金	5,000千円	
評価・課題等	○EV等充電ステーションの供用開始、再生可能エネルギー導入促進支援補助金制度等により、多面的に再生可能エネルギーの利活用推進を図ることができた。 ○本事業の一部財源として市民太陽光発電所事業の収入を充当したことで、事業を通して発電収入を市民還元することができた。 ○地産地消型再生可能エネルギーの面的利用については、先進地域の事例や諸課題の把握・分析に努めながら、事業の具現化を検討していく必要がある。			
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	14再生可能エネルギー推進事業
細事業名	02 利活用推進プラットフォーム事業（繰越）			決算書 P.194
総合計画	計画項目	7 新エネルギーの有効活用		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
83,999千円		84,000千円	1千円	99.9 % 84,000千円
目的	地域主導による再生可能エネルギー事業の創出・展開を進める支援及び環境をプラットフォームとして整え、再生可能エネルギーの利活用を広く推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	・EV等充電ステーション整備 市内7か所 83,999 千円 ※再生可能エネルギー電気の活用と、CO ₂ を排出しないクリーンエネルギーを動力源とする電気自動車等の普及推進を図るため、次世代自動車インフラ整備ビジョンに基づき、公共利用できるEV充電ステーションを整備した。			
	整備場所	整備内容	工事請負費	電力供給設備変更工事負担金
	① 京丹後市 大宮庁舎	急速充電器 1台	6,458千円	63千円
	② 京都丹後鉄道 網野駅	急速充電器、普通充電器 各1台	32,786千円	45千円
	③ 京都丹後鉄道 夕日ヶ浦木津温泉駅	急速充電器 1台		385千円
	④ 京都丹後鉄道 久美浜駅	急速充電器、普通充電器 各1台 ※ 太陽光発電、蓄電池を併設	44,262千円	-
	⑤ 道の駅 てんきてんき丹後	急速充電器、普通充電器 各1台		-
	⑥ 宇川温泉 よし野の里	急速充電器、普通充電器 各1台 ※ 太陽光発電、蓄電池を併設		-
	⑦ 道の駅 くみはまSANKAIKAN	急速充電器、普通充電器 各1台 ※ 太陽光発電、蓄電池を併設		-
	計			83,506千円
※④⑥⑦ 通常時は再生可能エネルギーを活用、災害時には非常用電源として利用可能				
主な財源	国補	次世代自動車充電インフラ整備促進事業費補助金	35,297千円	
	国補	地域再生戦略交付金	14,983千円	
	市債	充電ステーション整備事業債（合併特例債）	31,100千円	
評価・課題等	○鉄道駅・道の駅等7か所にEV等充電ステーションの整備を行うことで、市域内での電気自動車普及や利活用のための環境整備を進めることができた。 ○第2次総合計画における施策のめざす目標値「再生可能エネルギー・蓄電池の公共施設・公共交通への実装」を進めることができた。 ○移動型蓄電池、分散型電源としてのEV活用についても、可能性の検討を進めていく必要がある。			
事業所管課		農林水産環境部／環境バイオマス推進課		

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	17地域バイオマス利活用推進事業
細 事 業 名	01 地域バイオマス利活用推進事業			決算書 P.194
総 合 計 画	計画項目	9 循環型社会の構築		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額
1,614千円	2,589千円	975千円	62.3 %	2,589千円
目 的	循環型社会の構築に向けて、下水汚泥等をはじめとする地域バイオマス資源の更なる利活用を推進する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	○下水汚泥等資源化推進 1,406 千円 ・下水汚泥等発酵乾燥実証試験委託料 1,399 千円 ※現在、焼却して灰を埋立処分している、し尿・浄化槽・下水汚泥の資源化を検討する第一段階として、発酵乾燥による減容化実証試験を実施 ・負担金 7 千円 ※下水汚泥リサイクル講演会参加に係るもの ○その他 208 千円 ・職員旅費 ※「バイオマス産業都市構想」認定に係るヒアリング等			
主 な 財 源				
評 価 ・ 課 題 等	○バイオガス発電や木質バイオマス利活用など4つの事業化プロジェクトによる「バイオマス産業都市構想」を策定し、国の認定を受けることができた。今後はプロジェクト実現に向けた取組を進めていく必要がある。 ○下水汚泥等資源化のための発酵乾燥実証事業に取り組んだが、収集データの充実のため、平成28年度も実証事業を継続する。			
事 業 所 管 課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	50環境衛生一般経費
細 事 業 名	01 環境衛生一般経費			決算書 P.194
総 合 計 画	計画項目	6 美しい自然環境の次代への継承		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額
1,220千円	1,387千円	167千円	87.9 %	1,387千円
目 的	環境衛生事業の円滑な推進に必要な一般経費、関連団体への負担金等			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	事務用品購入、職員旅費、公用車の維持管理経費のほか、負担金の支出を行った。 ○旅費（普通旅費及び特別旅費）315 千円 ○需用費330 千円 ・消耗品費4 千円 ・公用車燃料費146 千円 ・公用車等修繕料（2台）180 千円 ○役務費（廃車手数料、自動車保険料）137 千円 ○使用料及び賃借料336 千円 ・電気自動車リース料（1台、大宮庁舎配置）336 千円 ・有料道路通行料、駐車場使用料50 千円 ○負担金、補助及び交付金27 千円 ・エネルギー管理講習受講分担当17 千円 ・バイオガス事業推進協議会負担金10 千円 ○自動車重量税25 千円			
主 な 財 源	諸収入	市有自動車損害共済金		59千円
評 価 ・ 課 題 等	適切な事務執行により、環境衛生事業全般を円滑に実施することができた。			
事 業 所 管 課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	08公害対策費	01公害対策事業	
細 事 業 名	01 公害対策事業			決算書	P.194
総 合 計 画	計画項目	6 美しい自然環境の次代への継承			
決 算 額	①	最 終 予 算 額	②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
	1,154千円	1,283千円		129千円	89.9 % 1,283千円
目的	野焼きや騒音・振動・悪臭などの苦情等に対し、京都府や自治会等と連携を図りながら解決に向けた対応を行い、市民の健康で快適な生活環境の保全を図る。				
主要な 事業及び 成果の概要	◎野焼き 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく行政指導を行った。(5件) ◎騒音・振動・悪臭苦情 騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法に基づく対応ができない事案に対しては、当事者間の調整、相談窓口の案内等を行った。(9件) ◎水質・大気汚染対応 水質汚濁防止法、大気汚染防止法に基づく京都府の対応に協力した。(2件) ◎自動車騒音常時監視 騒音規制法第18条に基づき、自動車騒音の常時監視及び面的評価業務を行い、本市内の環境基準の達成状況を把握した。 ・測定日：H28月1月27日 ・測定場所：一般国道312号 始点：大宮町三重、終点：大宮町谷内 ・測定結果：環境基準(目標値)＝昼間70dB、夜間62dB 測定結果(1か所)＝6～21時：68dB、22～5時：62dB ○旅費 11千円 職員出張旅費 ○役務費 通信運搬費(騒音計借用についての送料) 2千円 ○委託料 931千円 ・草刈委託料(網野町小浜地内樋越川 年1回) 50千円 ・水質検査委託料 92千円 (峰山町：大糸川、風呂川、小西川、大谷川 網野町：三原川 年1回) ・自動車騒音常時監視面的評価業務委託 789千円 ○備品購入費(騒音計1台) 210千円				
主な財源					
評価・課題等	○公害及び苦情案件に対し、迅速かつ適正に対応することができた。 ○野焼きに関する苦情も多く、野焼き禁止の広報を更に行っていく必要がある。 ○自動車騒音常時監視面的評価の実施により、本市の環境基準の達成状況を把握できた。				
事業所管課	市民部／市民課				

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	09火葬場費	02火葬場管理運営事業																			
細 事 業 名	01 火葬場管理運営事業			決算書 P.196																			
総 合 計 画	計画項目	34 その他基礎的な事務事業																					
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額																			
36,606千円	37,072千円	466千円	98.7 %	40,191千円																			
目的	市民生活にとって必要不可欠な火葬場の運営にあたり、利用者が満足できるサービスが提供できるよう、施設の維持管理を行う。																						
主要な事務・事業及び成果の概要	市内の3火葬場を統合した新火葬場への業務の移行と運営管理を行った。																						
	○施設維持管理及び火葬執行経費 27,401 千円																						
	・臨時職員賃金及び社会保険料（5人） 14,071 千円																						
	・消耗品費（棺架台用五徳、香炭等） 602 千円																						
	・燃料費（火葬炉用灯油、混合油） 2,670 千円																						
	・光熱水費（電気代、下水道使用料、水道代） 6,351 千円																						
	・修繕料（火葬炉室換気扇、除雪機） 408 千円																						
	・火災保険料 46 千円																						
	・残骨灰処理委託料 176 千円																						
	・その他管理経費（自動ドア保守、環境測定委託料等） 3,077 千円																						
○霊柩車運行管理経費 5,764 千円																							
・霊柩車運行業務委託料 5,038 千円																							
・霊柩車維持管理経費（4台） 726 千円																							
○公用車維持管理経費（軽箱バン1台、小型除雪車1台） 67 千円																							
・維持管理経費（燃料費、自動車損害保険料）																							
○備品購入費 3,374 千円																							
・小型除雪車（1台）、車いす（2台）購入																							
[火葬場使用実績]																							
<table><tr><td>年度</td><td>火葬場使用料</td><td>対前年度増減率</td><td>使用件数</td><td>対前年度増減率</td></tr><tr><td>H27</td><td>11,957千円</td><td>△9.1%</td><td>862件</td><td>△8.6%</td></tr><tr><td>H26</td><td>13,158千円</td><td>4.2%</td><td>943件</td><td>4.2%</td></tr><tr><td>H25</td><td>12,630千円</td><td>2.2%</td><td>905件</td><td>3.5%</td></tr></table>				年度	火葬場使用料	対前年度増減率	使用件数	対前年度増減率	H27	11,957千円	△9.1%	862件	△8.6%	H26	13,158千円	4.2%	943件	4.2%	H25	12,630千円	2.2%	905件	3.5%
年度	火葬場使用料	対前年度増減率	使用件数	対前年度増減率																			
H27	11,957千円	△9.1%	862件	△8.6%																			
H26	13,158千円	4.2%	943件	4.2%																			
H25	12,630千円	2.2%	905件	3.5%																			
主な財源	使用料 火葬場使用料現年度分			11,957千円																			
評価・課題等	○火葬場の使用件数は、前年度に比べて減少した。施設管理は職員が実施し、霊柩車の運行は委託することにより、火葬の執行を適切に行うことができた。 ○火葬炉の機械管理については、安定した稼働が求められ、事前の機械点検や事故対応時に万全を期す必要がある。																						
事業所管課		市民部／衛生センター																					

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	09火葬場費	03旧火葬場解体事業
細 事 業 名	01 旧火葬場解体事業			決算書 P.196
総 合 計 画	計画項目	8 ごみ・廃棄物の適正処理		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
34,708千円	34,782千円	74千円	99.7 %	0千円
目的	京丹後市火葬場の新設稼働につき、旧火葬場の解体撤去を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	3か所の旧火葬場について、安全かつ適正に解体撤去を行った。 ○旧火葬場解体撤去工事施工監理委託料 1,782千円 ○工事請負費 32,926千円 ・竹野川斎場解体撤去工事 15,798千円 ・網野火葬場解体撤去工事 9,244千円 ・久美浜火葬場解体撤去工事 7,884千円			
主な財源	市債 旧火葬場解体事業債（合併特例債） 32,900千円			
評価・課題等	○安全かつ適正に解体撤去できた。 ○解体した跡地利用を検討する必要がある。			
事業所管課	市民部／市民課			

予 算 科 目		04衛生費	01保健衛生費	10水道費	01簡易水道事業特別会計繰出金																							
細 事 業 名		01 簡易水道事業特別会計繰出金				決算書 P.196																						
総 合 計 画		計画項目 18 きれいな水を美しくかえす上下水道の整備																										
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額																						
292,806千円		292,807千円		1千円	99.9 %	302,289千円																						
目的 総務省から示される簡易水道事業に対する繰出基準を参考に簡易水道事業特別会計へ繰出金を支出することにより、同会計の経営の健全化を促進し経営基盤の強化を図る。																												
主要な事務・事業及び成果の概要 一般会計から簡易水道事業特別会計に対して繰出金を支出した。 【繰出金の内容】 <table><tr><td colspan="2">項 目</td><td>繰 出 金</td></tr><tr><td rowspan="5">基準内</td><td>起債元利償還金（臨時措置分）</td><td>6,638 千円</td></tr><tr><td>起債元利償還金（簡易水道事業債）</td><td>97,451 千円</td></tr><tr><td>起債元利償還金（未普及解消緊急対策分）</td><td>101,226 千円</td></tr><tr><td>児童手当</td><td>878 千円</td></tr><tr><td>小 計</td><td>206,193 千円</td></tr><tr><td rowspan="2">基準外</td><td>起債元利償還金（辺地・過疎対策事業分）</td><td>86,613 千円</td></tr><tr><td>小 計</td><td>86,613 千円</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>292,806 千円</td></tr></table>							項 目		繰 出 金	基準内	起債元利償還金（臨時措置分）	6,638 千円	起債元利償還金（簡易水道事業債）	97,451 千円	起債元利償還金（未普及解消緊急対策分）	101,226 千円	児童手当	878 千円	小 計	206,193 千円	基準外	起債元利償還金（辺地・過疎対策事業分）	86,613 千円	小 計	86,613 千円	合 計		292,806 千円
項 目		繰 出 金																										
基準内	起債元利償還金（臨時措置分）	6,638 千円																										
	起債元利償還金（簡易水道事業債）	97,451 千円																										
	起債元利償還金（未普及解消緊急対策分）	101,226 千円																										
	児童手当	878 千円																										
	小 計	206,193 千円																										
基準外	起債元利償還金（辺地・過疎対策事業分）	86,613 千円																										
	小 計	86,613 千円																										
合 計		292,806 千円																										
主な財源																												
評価・課題等																												
事業所管課		上下水道部／水道整備課																										

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	10水道費	02水道事業会計繰出金
細 事 業 名	01 水道事業会計繰出金			決算書 P.198
総 合 計 画	計画項目	18 きれいな水を美しくかえす上下水道の整備		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率
13,499千円		73,999千円	60,500千円	18.2 %
				(参考) 当初予算額 83,711千円
目 的	水道水の安定供給を確立するため、上水道統合事業を実施する水道事業会計を支援する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	水不足が懸念される網野町、丹後町及び大宮町給水区域への水融通を行うための施設整備に対して、出資金を支出した。			
	○水道事業一般会計出資金 (内訳)		4,500 千円 (事業費 9,000千円)	
	中野浄水場改良事業		4,500 千円 (事業費 9,000千円)	
	○企業債元利償還繰出金 (統合前簡水分)		8,279 千円	
	○児童手当分繰出金		720 千円	
	参 考	繰越明許費を除いた最終予算額	13,499千円	
		実質的な予算執行率	100.0 %	
	■平成28年度への繰越事業		60,500 千円	
	○中野浄水場改良事業		60,500 千円 (事業費121,000千円)	
主 な 財 源	市債	水道事業一般会計出資債 (合併特例債)		4,500千円
評 価 ・ 課 題 等				
事 業 所 管 課		上下水道部／水道整備課		

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	10水道費	02水道事業会計繰出金
細 事 業 名	01 水道事業会計繰出金 (繰越)			決算書 P.198
総 合 計 画	計画項目 18 きれいな水を美しくかえす上下水道の整備			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
16,600千円	23,300千円	6,700千円	71.2 %	23,300千円
目的	水道水の安定供給を確立するため、上水道統合事業を実施する水道事業会計を支援する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	水不足が懸念される網野町、丹後町及び大宮町給水区域への水融通を行うための施設整備に対して、出資金を支出した。 ○水道事業一般会計出資金 16,600 千円 (事業費 33,487千円) (内訳) 中野浄水場改良事業 14,300 千円 (事業費 28,737千円) 善王寺浄水場改良事業 2,300 千円 (事業費 4,750千円)			
主な財源	市債 水道事業一般会計出資債 (合併特例債) 16,600千円			
評価・課題等				
事業所管課	上下水道部/水道整備課			

予 算 科 目		04衛生費	02清掃費	01清掃総務費	02古紙リサイクル推進事業																													
細 事 業 名		01 古紙リサイクル推進事業				決算書 P.198																												
総 合 計 画		計画項目	9 循環型社会の構築																															
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額																												
12,490千円		12,664千円		174千円	98.6 %	15,054千円																												
目的 再資源化可能な古紙等の回収活動団体に対し補助金を交付することにより、焼却ごみの減量及び古紙の再生利用を促進し、もって循環型社会の形成を推進する。																																		
主要な事務・事業及び成果の概要 共同作業所、小中学校PTA、婦人会等古紙回収団体に対し、回収量に応じた補助金を交付することで、市民のリサイクル意識の向上や焼却ごみ量の抑制並びに古紙再生利用の促進を行った。 ○需用費 52千円 ・ 消耗品費（古紙回収コンテナ15個） ○負担金、補助金及び交付金 12,438千円 ・ 古紙回収団体補助金（5円/kg×2,487,554kg） 申請件数（延べ） 149 件 交付団体数 50 団体 内訳 (単位：kg) <table><tr><th>年度</th><th>新聞紙</th><th>段ボール</th><th>雑誌</th><th>紙パック</th><th>雑がみ</th><th>合計</th></tr><tr><td>H27</td><td>862,531</td><td>966,400</td><td>632,811</td><td>14,702</td><td>11,110</td><td>2,487,554</td></tr><tr><td>H26</td><td>964,960</td><td>980,920</td><td>613,250</td><td>13,037</td><td>10,560</td><td>2,582,727</td></tr><tr><td>H25</td><td>1,029,610</td><td>1,064,390</td><td>672,800</td><td>23,413</td><td></td><td>2,790,213</td></tr></table>							年度	新聞紙	段ボール	雑誌	紙パック	雑がみ	合計	H27	862,531	966,400	632,811	14,702	11,110	2,487,554	H26	964,960	980,920	613,250	13,037	10,560	2,582,727	H25	1,029,610	1,064,390	672,800	23,413		2,790,213
年度	新聞紙	段ボール	雑誌	紙パック	雑がみ	合計																												
H27	862,531	966,400	632,811	14,702	11,110	2,487,554																												
H26	964,960	980,920	613,250	13,037	10,560	2,582,727																												
H25	1,029,610	1,064,390	672,800	23,413		2,790,213																												
主な財源 諸収入 オークション宝くじ市町村等交付金 11,341千円 諸収入 資源回収の古紙販売代金 183千円																																		
評価・課題等 ○補助金交付により、各団体の活動の活性化と市民の分別意識向上を図った。 ○平成26年度から新たに分別品目に加えた「雑がみ」の分別について、広報や出前講座により市民に周知するとともに、市役所全庁舎での分別排出に取り組んだ。 ○焼却施設への負荷軽減及び最終処分場の延命化（焼却灰の減量）を図るため、更に「雑がみ」の分別・再資源化を推進する必要がある。																																		
事業所管課		市民部／市民課																																

予 算 科 目	04衛生費	02清掃費	01清掃総務費	04小型家電リサイクル推進事業	
細 事 業 名	01 小型家電リサイクル推進事業				決算書 P.198
総 合 計 画	計画項目	9 循環型社会の構築			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
357千円	358千円	1千円	99.7 %	216千円	
目 的	小型家電リサイクル法に基づき、携帯電話等の使用済小型家電を分別回収・リサイクル処理し、最終処分場の延命化と有用金属の再資源化を進める。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	再生可能な使用済小型家電を国の認定事業者へ売却し再資源化を図るとともに、持出処理を行うことにより、最終処分場の延命化に寄与した。				
	○役務費 357千円				
	・ 小型電子機器運搬・処理（リサイクル）手数料				
	処理量	55,110kg			
	売却単価	6円/kg			
運搬手数料単価	6円/kg				
主 な 財 源	諸収入 資源ごみ売却代金				357千円
評 価 ・ 課 題 等	○売却収入の範囲内で運搬ができ、財政負担を伴わずに使用済小型廃家電の再資源化と埋立ごみ減量ができた。 ○更なる周知を図り、市民に制度を定着させることにより有用金属の回収・再資源化に寄与する。				
事 業 所 管 課		市民部／市民課			

予 算 科 目	04衛生費	02清掃費	01清掃総務費	50清掃総務一般経費	
細 事 業 名	01 清掃総務一般経費				決算書 P.198
総 合 計 画	計画項目	8 ごみ・廃棄物の適正処理			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額	
6,500千円	6,571千円	71千円	98.9 %	6,901千円	
目 的	各自治会による資源ごみステーションの管理及び分別指導の実施のほか、廃棄物減量等推進審議会で諸施策について審議し、ごみの適正排出及び減量化を推進する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	○報酬 136千円				
	・ 廃棄物減量等推進審議会委員報酬（委員数20人）				
	諮問内容：廃棄物減量等協力謝金の在り方、雑がみ回収促進について 他				
	開催回数：2回（2/29、3/25）				
	○報償費 6,122千円				
	・ 報償金（廃棄物減量等協力謝金）				
	廃棄物減量等協力謝金支払い実績				
			ステーション数	協力謝金	※地区ごとの「資源ごみステーション数×6,500円」 又は「住基人口×100円」 のいずれか多い額を支払った。
	峰山市民局管内		49 か所	1,273 千円	
	大宮市民局管内		38 か所	1,062 千円	
	網野市民局管内		89 か所	1,443 千円	
	丹後市民局管内		101 か所	690 千円	
弥栄市民局管内		35 か所	570 千円		
久美浜市民局管内		106 か所	1,084 千円		
計		418 か所	6,122 千円		
○旅費 158千円					
・ 費用弁償（廃棄物減量等推進審議会委員） 16千円					
・ 職員出張旅費 142千円					
○需用費 26千円					
・ 消耗品費（実務便覧等追録ほか）					
○使用料及び賃借料 48千円					
・ 有料道路通行料及び駐車場使用料					
○負担金 10千円					
・ 京都府廃棄物対策協議会負担金					
主 な 財 源					
評 価 ・ 課 題 等	○廃棄物減量等推進審議会に対し諮問を行い、「廃棄物減量等協力謝金の在り方」並びに「雑がみ再資源化の促進」等について新たな議論を始めることができた。 ○各地区内の資源ごみステーションにおける分別指導及びステーションの管理を地元自治会の協力を得て行うことにより、資源ごみの分別水準の維持と周辺環境の保全ができた。				
事 業 所 管 課		市民部／市民課			

予 算 科 目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	02家庭ごみ収集運搬事業											
細 事 業 名	01 家庭ごみ収集運搬事業			決算書 P.200											
総 合 計 画	計画項目	8 ごみ・廃棄物の適正処理													
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額											
242,522千円	242,642千円	120千円	99.9 %	243,665千円											
目的	一般廃棄物処理基本計画に基づき、家庭ごみのステーション収集を行うとともに、指定ごみ袋及び収集カレンダーを作成し、分別・減量化及び適正処理を推進する。														
主要な事務・事業及び成果の概要	市で発注した指定ごみ袋について、市内取扱店舗等に委託して市民へ提供した。また、廃棄物処理法に基づき一般廃棄物収集運搬業務を民間業者に委託し、家庭ごみの収集運搬を行った。														
	○需用費 21,460千円														
	・消耗品 21,138千円														
	可燃ごみ袋…大170万枚 小68万枚 ミニ18万枚														
	不燃ごみ袋…大12.5万枚														
	資源ごみ回収ボックス200個 ビン・缶回収コンテナ 80個														
	・印刷製本費（収集カレンダー25,330枚） 322千円														
	○役務費 7,831千円														
	・手数料														
	ごみ袋販売手数料														
（ごみ袋販売委託業者（H28.3.31現在）153業者、179店舗）															
ごみ袋販売枚数															
<table><tr><td></td><td>大</td><td>小</td><td>ミニ</td></tr><tr><td>可燃</td><td>1,619,000枚</td><td>614,500枚</td><td>178,200枚</td></tr><tr><td>不燃</td><td>109,680枚</td><td>44,220枚</td><td></td></tr></table>					大	小	ミニ	可燃	1,619,000枚	614,500枚	178,200枚	不燃	109,680枚	44,220枚	
	大	小	ミニ												
可燃	1,619,000枚	614,500枚	178,200枚												
不燃	109,680枚	44,220枚													
○委託料 213,231千円															
・一般廃棄物収集運搬委託料（7業者）															
家庭ごみ収集運搬業務（生ごみ収集を含む）															
主な財源	手数料	可燃ごみ（ごみ袋）処理手数料	67,763千円												
	手数料	粗大ごみ処理手数料	5千円												
	手数料	一般廃棄物収集運搬業許可手数料	140千円												
	手数料	一般廃棄物処分業許可手数料	10千円												
評価・課題等	○指定ごみ袋の在庫を的確に管理するとともに、市民生活に身近な地域内の店舗に販売を委託することで、市民の利便性と安定供給を確保することができた。														
	○円滑かつ的確に家庭ごみ収集を行うことで、地域の衛生環境の保全が確保できた。														
	○廃棄物処理法の規定に従い、引き続き事業を適正に執行し公衆衛生を向上させることで、安心・快適な市民生活を確保していく必要がある。														
事業所管課		市民部／市民課													

予 算 科 目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	03峰山クリーンセンター管理運営事業
細 事 業 名	01 峰山クリーンセンター管理運営事業			決算書 P.200
総 合 計 画	計画項目	8 ごみ・廃棄物の適正処理		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
468,988千円	470,830千円	1,842千円	99.6 %	484,366千円
目的	生活環境の保全と公衆衛生の向上のため、中間処理（焼却・分別保管）施設の維持管理業務を行い、市内で発生する可燃ごみ及び資源ごみを円滑、適正に処理する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	市内で発生する一般廃棄物（可燃ごみ・資源ごみ）を処理するため、施設の運営及び維持管理等に必要な経費を支出した。			
	○クリーンセンター運営管理委託料	247,931千円		
	○クリーンセンター整備工事設計監理委託料	3,564千円		
	○循環型社会形成推進地域計画策定委託料	2,973千円		
	○クリーンセンター整備工事費	97,740千円		
	○その他の経費（薬品代・光熱水費・施設運用協力金等）	116,780千円		
	【峰山クリーンセンター搬入状況】			
		総搬入量	業者持込	直接持込
		重量 (t)	対前年度	重量 (t)
	H27	17,602	△2.6%	10,634
H26	18,070	△3.9%	10,723	7,347
H25	18,808	△0.5%	10,679	8,129
	○可燃ごみ焼却量 16,831t			
	○資源ごみ処理量 784t			
	アルミ缶 28t、無色ビン134t、その他ビン 66t、容器包装ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ 272t			
	スチール缶34t、茶色ビン128t、PETボトル103t、発砲スチロール 19t			
	<ダイオキシン類測定結果（H27年10月8、30日測定）>			
	1～4号炉排ガス・焼却灰、飛灰は全て基準値（0.1ng-TEQ/Nm ³ ）以下の数値を計測			
	※ng（ナノグラム）は、10億分の1g			
主な財源	使用料	公有財産使用料	117千円	
	手数料	峰山クリーンセンター持込ごみ処理手数料	30,374千円	
	諸収入	資源ごみ売却代金	9,760千円	
評価・課題等	○焼却処理に伴う排ガス中のダイオキシン類を含む公害関係の検査結果は全て法定基準値内であり、市内で発生する可燃ごみ及び資源ごみを安全かつ適正に処理できた。 ○市内小学生等を対象に施設見学会を実施し（17校）ごみ減量の啓発ができた。 ○平成43年度の稼働期限を見据え、基幹的設備改良工事を進めていく必要がある。			
事業所管課		市民部／市民課		

予 算 科 目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	03峰山クリーンセンター管理運営事業	
細 事 業 名	01 峰山クリーンセンター管理運営事業（繰越）				決算書 P.202
総 合 計 画	計画項目	8 ごみ・廃棄物の適正処理			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	（参考）当初予算額	
7,406千円	7,678千円	272千円	96.4 %	7,678千円	
目 的	峰山クリーンセンターから排出される焼却灰の埋立処理を行うにあたり、市内各最終処分場まで搬送するため4 tダンプを更新する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	4 tダンプを購入し、峰山クリーンセンターから排出される焼却灰を市内各最終処分場まで搬送し、埋め立て処理を行った。				
	○役務費 138千円				
	自動車登録手数料 40千円				
	自動車リサイクル料 11千円				
	自動車損害保険料 87千円				
主 要 な 財 源	○備品購入費 7,202千円				
	4tダンプ購入費（1台） 7,202千円				
	○公課費 66千円				
	自動車重量税 66千円				
市債	峰山クリーンセンター整備事業債（合併特例債）				6,800千円
評価・課題等	○老朽化した4 tダンプを更新し、安全かつ的確に焼却灰を搬送し、適正な廃棄物処理業務が実施できた。 ○更新車両の適正な維持管理に努める。				
事業所管課		市民部／市民課			

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	04峰山最終処分場管理運営事業																								
細事業名	01 峰山最終処分場管理運営事業			決算書 P.202																								
総合計画	計画項目	8 ごみ・廃棄物の適正処理																										
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																								
24,474千円	25,354千円	880千円	96.5%	24,204千円																								
目的	不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理(埋立・再資源化)するとともに、浸出水処理施設等の適正な維持管理業務を行うことで、市民の生活環境の保全を図る。																											
主要な事務・事業及び成果の概要	主に峰山町内から搬入された不燃ごみの埋立処理を行った。また、再生可能な廃棄物(金属類・廃家電品)の分別を行い、再資源化に向けた持出処理を行ったことにより、埋立ごみの抑制及び再資源化率の向上を図った。																											
	○最終処分場運営管理委託料	9,230千円																										
	○水質検査等委託料(ダイオキシン類を含む)	1,187千円																										
	○浸出水処理施設活性炭吸着塔点検ろ材交換工事	2,592千円																										
	○資源ごみ(廃家電・廃プラスチック品)処理手数料	499千円																										
	○その他の経費(薬品代・光熱水費・施設運用協力金等)	10,966千円																										
	【峰山最終処分場搬入状況】																											
	<table><tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">総搬入量</td><td>業者持込</td><td>直接持込</td></tr><tr><td>重量(t)</td><td>対前年度</td><td>重量(t)</td><td>重量(t)</td></tr><tr><td>H27</td><td>565</td><td>△49.4%</td><td>132</td><td>433</td></tr><tr><td>H26</td><td>1,117</td><td>39.5%</td><td>129</td><td>988</td></tr><tr><td>H25</td><td>801</td><td>△22.8%</td><td>137</td><td>664</td></tr></table>					総搬入量		業者持込	直接持込	重量(t)	対前年度	重量(t)	重量(t)	H27	565	△49.4%	132	433	H26	1,117	39.5%	129	988	H25	801	△22.8%	137	664
		総搬入量		業者持込		直接持込																						
		重量(t)	対前年度	重量(t)	重量(t)																							
H27	565	△49.4%	132	433																								
H26	1,117	39.5%	129	988																								
H25	801	△22.8%	137	664																								
<ダイオキシン類測定結果(H27年11月25日測定)> 全て基準値(放流水:10pg-TEQ/ℓ、地下水・上流・下流:1pg-TEQ/ℓ)以下の数値を計測 ※pg(ピコグラム)は、1兆分の1グラム																												
<リサイクル処理量> 金属類(売却)41t 廃プラスチック(処分)7t 廃家電品(処分)5t																												
主な財源	手数料	峰山最終処分場持込ごみ処理手数料		1,552千円																								
	手数料	不燃ごみ(ごみ袋)処理手数料		705千円																								
	諸収入	資源ごみ売却代金		354千円																								
評価・課題等	○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。 ○浸出水処理施設から放流する水質の検査結果は、いずれも法定基準内であり、施設の安全稼働ができた。 ○施設の稼働予定年限である平成34年度末に向けて埋立残余量(H27.11月:67%終了)を監視しながら、埋立ごみ減量化に向けた取組を推進するとともに、将来の施設計画についても検討を始める必要がある。																											
事業所管課		市民部/市民課																										

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	05大宮最終処分場管理運営事業
細事業名	01 大宮最終処分場管理運営事業			決算書 P.202
総合計画	計画項目 8 ごみ・廃棄物の適正処理			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
30,832千円	31,332千円	500千円	98.4%	32,190千円
目的	不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理(埋立・再資源化)するとともに、浸出水処理施設等の適正な維持管理業務を行うことで、市民の生活環境の保全を図る。			
主要な 事業及び 成果の概要	主に大宮町内から搬入された不燃ごみの埋立処理を行った。また、再生可能な廃棄物(金属類・廃家電品)の分別を行い、市外の再生業者等へ持出処理を行ったことにより、埋立ごみの抑制及び再資源化率の向上を図った。			
	○最終処分場運営管理委託料	14,612千円		
	○水質検査等委託料(ダイオキシン類を含む)	563千円		
	○資源ごみ(廃家電・廃プラスチック品)処理手数料	19千円		
	○その他の経費(薬品代・光熱水費・施設運用協力金等)	15,638千円		
	【大宮最終処分場搬入状況】			
	総搬入量		業者持込	直接持込
	重量(t)	対前年度	重量(t)	重量(t)
H27	1,517	13.4%	157	1,360
H26	1,338	△23.6%	120	1,218
H25	1,752	△7.4%	113	1,639
	<ダイオキシン類測定結果(H27年10月8日測定)>			
	全て基準値(放流水:10pg-TEQ/ℓ、地下水・上流・下流:1pg-TEQ/ℓ)以下の数値を計測			
	※pg(ピコグラム)は、1兆分の1グラム			
	<リサイクル処理量>			
	金属類(売却)22t 廃家電品(処分)0.5t			
主な 財源	手数料	大宮最終処分場持込ごみ処理手数料		5,921千円
	手数料	不燃ごみ(ごみ袋)処理手数料		897千円
	諸収入	資源ごみ売却代金		187千円
評価・課題等	○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。 ○浸出水処理施設から放流する水質の検査結果は、いずれも法定基準内であり、施設の安全稼働ができた。 ○施設の稼働予定年限である平成34年度末に向けて埋立残余量(H27.11月:68%終了)を監視しながら、埋立ごみ減量化に向けた取組を推進するとともに、将来の施設計画についても検討を始める必要がある。			
事業所管課		市民部/市民課		

予 算 科 目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	05大宮最終処分場管理運営事業
細 事 業 名	01 大宮最終処分場管理運営事業（繰越）			決算書 P.204
総 合 計 画	計画項目	8 ごみ・廃棄物の適正処理		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,862千円	3,066千円	204千円	93.3 %	3,066千円
目的	大宮最終処分場に搬入された資源ごみ等を搬送するため2tダンプを更新する。			
主要な 事業及び 成果の 概要	2tダンプを購入し、木材チップ、小型廃家電、金属屑及び有害ごみ等の廃棄物ならびに市指定ごみ袋等資材品を搬送した。 ○役務費 47千円 自動車登録手数料 4千円 自動車リサイクル料 9千円 自動車損害保険料 34千円 ○備品購入費 2,792千円 2tダンプ購入費（1台） 2,792千円 ○公課費 23千円 自動車重量税 23千円			
主な財源	市債 大宮最終処分場整備事業債（合併特例債） 2,600千円			
評価・課題等	○老朽化した2tダンプを更新し、安全かつ的確に資源ごみ等を搬送し、適正な廃棄物処理業務が実施できた。 ○更新車両の適正な維持管理に努める。			
事業所管課	市民部／市民課			

予 算 科 目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	06網野最終処分場管理運営事業																								
細 事 業 名	01 網野最終処分場管理運営事業			決算書 P.204																								
総 合 計 画	計画項目	8 ごみ・廃棄物の適正処理																										
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																								
65,116千円	65,407千円	291千円	99.5 %	70,561千円																								
目的	不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理（埋立・再資源化）するとともに、浸出水処理施設等の適正な維持管理業務を行うことで、市民の生活環境の保全を図る。																											
主要な 事業及び 成果の 概要	主に網野・丹後・弥栄町内から搬入された不燃ごみの埋立処理を行った。また、再生可能な廃棄物（金属類・廃家電品）の分別を行い、市外の再生業者等へ持出処理を行ったことにより、埋立ごみの抑制及び再資源化率の向上を図った。 ○最終処分場運営管理委託料 23,587千円 ○水質検査等委託料（ダイオキシン類を含む） 2,528千円 ○浸出水処理施設整備工事 13,824千円 ○資源ごみ（廃家電・廃プラスチック品）処理手数料 486千円 ○その他の経費（薬品代・光熱水費・施設運用協力金等） 24,691千円 【網野最終処分場搬入状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="2">総搬入量</th><th colspan="2">業者持込</th></tr> <tr> <th>重量 (t)</th><th>対前年度</th><th>重量 (t)</th><th>直接持込重量 (t)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td><td>1,646</td><td>20.9%</td><td>269</td><td>1,377</td></tr> <tr> <td>H26</td><td>1,362</td><td>△24.7%</td><td>263</td><td>1,099</td></tr> <tr> <td>H25</td><td>1,809</td><td>0.4%</td><td>273</td><td>1,536</td></tr> </tbody> </table> <ダイオキシン類測定結果（H27年10月15日測定）> 全て基準値（放流水：10pg-TEQ/ℓ、地下水・上流・下流：1pg-TEQ/ℓ）以下の数値を計測 ※pg（ピコグラム）は、1兆分の1グラム <リサイクル処理量> 金属類（売却）59t 廃プラスチック（処分）3t 廃家電品（処分）9t					総搬入量		業者持込		重量 (t)	対前年度	重量 (t)	直接持込重量 (t)	H27	1,646	20.9%	269	1,377	H26	1,362	△24.7%	263	1,099	H25	1,809	0.4%	273	1,536
	総搬入量		業者持込																									
	重量 (t)	対前年度	重量 (t)	直接持込重量 (t)																								
H27	1,646	20.9%	269	1,377																								
H26	1,362	△24.7%	263	1,099																								
H25	1,809	0.4%	273	1,536																								
主な財源	手数料 網野最終処分場持込ごみ手数料 1,803千円 手数料 不燃ごみ（ごみ袋）処理手数料 1,713千円 諸収入 資源ごみ売却代金 512千円																											
評価・課題等	○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。 ○浸出水処理施設から放流する水質の検査結果は、いずれも法定基準内であり、施設の安全稼働ができた。 ○埋立残余量（H27.11月：74%終了）を監視しながら、埋立ごみ減量化に向けた取組を推進するとともに、将来の施設計画についても検討を始めるとともに地元区に対し、施設の稼働年限の延長を協議する必要がある。																											
事業所管課	市民部／市民課																											

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	07久美浜最終処分場管理運営事業																								
細事業名	01 久美浜最終処分場管理運営事業			決算書 P.206																								
総合計画	計画項目	8 ごみ・廃棄物の適正処理																										
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額																								
36,813千円		37,140千円	327千円	99.1 % 38,558千円																								
目的	不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理（埋立・再資源化）するとともに、浸出水処理施設等の適正な維持管理業務を行うことで、市民の生活環境の保全を図る。																											
主要な事務・事業及び成果の概要	主に久美浜町内から搬入された不燃ごみの埋立処理を行った。また、再生可能な廃棄物（金属類・廃家電品）の分別を行い、市外の再生業者等へ持出処理を行ったことにより、埋立ごみの抑制及び再資源化率の向上を図った。																											
	○最終処分場運営管理委託料			21,514千円																								
	○水質検査等委託料（ダイオキシン類を含む）			1,262千円																								
	○浸出水処理施設整備工事			5,940千円																								
	○資源ごみ（廃家電）処理手数料			98千円																								
	○その他の経費（薬品代・光熱水費・施設運用協力金等）			7,999千円																								
	【久美浜最終処分場搬入状況】																											
	<table><tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">総搬入量</td><td>業者持込</td><td>直接持込</td></tr><tr><td>重量 (t)</td><td>対前年度</td><td>重量 (t)</td><td>重量 (t)</td></tr><tr><td>H27</td><td>541</td><td>△16.3%</td><td>124</td><td>417</td></tr><tr><td>H26</td><td>646</td><td>△7.7%</td><td>113</td><td>533</td></tr><tr><td>H25</td><td>700</td><td>7.4%</td><td>126</td><td>575</td></tr></table>					総搬入量		業者持込	直接持込	重量 (t)	対前年度	重量 (t)	重量 (t)	H27	541	△16.3%	124	417	H26	646	△7.7%	113	533	H25	700	7.4%	126	575
		総搬入量		業者持込		直接持込																						
		重量 (t)	対前年度	重量 (t)	重量 (t)																							
H27	541	△16.3%	124	417																								
H26	646	△7.7%	113	533																								
H25	700	7.4%	126	575																								
<ダイオキシン類測定結果（H27年10月14日測定）> 全て基準値（放流水：10pg-TEQ/ℓ、地下水・上流・下流：1pg-TEQ/ℓ）以下の数値を計測 ※pg（ピコグラム）は、1兆分の1グラム																												
<リサイクル処理量> 金属類（売却）38t スチールプレス（売却）16t 廃家電品（処分）3t																												
主な財源	手数料	久美浜最終処分場持込ごみ処理手数料		973千円																								
	手数料	不燃ごみ（ごみ袋）処理手数料		1,123千円																								
	諸収入	資源ごみ売却代金		643千円																								
評価・課題等	○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。 ○浸出水処理施設から放流する水質の検査結果は、いずれも法定基準内であり、施設の安全稼働ができた。 ○施設の稼働予定年限である平成38年度末に向けて埋立残余量（H27.11月：50%終了）を監視しながら、埋立ごみ減量化に向けた取組を推進するとともに、将来の施設計画についても検討を始める必要がある。																											
事業所管課		市民部／市民課																										

予 算 科 目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	08有害ごみ処理事業																								
細 事 業 名	01 有害ごみ処理事業			決算書 P.208																								
総 合 計 画	計画項目	8 ごみ・廃棄物の適正処理																										
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額																								
5,657千円	5,744千円	87千円	98.4 %	5,560千円																								
目的	市内で発生する有害ごみ（使用済み乾電池、蛍光管）を安全・適正に処理するとともに再資源化を図る。																											
主要な事務・事業及び成果の概要	市内で発生する「使用済み乾電池」や「蛍光管」など水銀を含む製品の処理を適正に行った。																											
	○需用費 501千円 消耗品費（蛍光管用蓋付きドラム缶、乾電池用蓋空きドラム缶等）																											
	○委託料 5,156千円 有害ごみ処理委託料																											
	・ 廃蛍光管・廃乾電池処理委託料 （65円/kg税別） 3,897千円																											
	・ 廃蛍光管・廃乾電池運搬委託料 （21円/kg税別） 1,259千円																											
	【乾電池及び蛍光管の処理状況】																											
	<table><tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">総搬入量</td><td>乾電池</td><td>蛍光管</td></tr><tr><td>重量 (t)</td><td>対前年度</td><td>重量 (t)</td><td>重量 (t)</td></tr><tr><td>H27</td><td>55.5</td><td>51.2%</td><td>27.6</td><td>27.9</td></tr><tr><td>H26</td><td>36.7</td><td>23.6%</td><td>23.8</td><td>12.9</td></tr><tr><td>H25</td><td>29.7</td><td>0.3%</td><td>29.7</td><td>0.0</td></tr></table>					総搬入量		乾電池	蛍光管	重量 (t)	対前年度	重量 (t)	重量 (t)	H27	55.5	51.2%	27.6	27.9	H26	36.7	23.6%	23.8	12.9	H25	29.7	0.3%	29.7	0.0
		総搬入量		乾電池		蛍光管																						
		重量 (t)	対前年度	重量 (t)	重量 (t)																							
	H27	55.5	51.2%	27.6	27.9																							
H26	36.7	23.6%	23.8	12.9																								
H25	29.7	0.3%	29.7	0.0																								
※平成25年度の蛍光管の処理については、搬入量が少なかったため未処理																												
主な財源																												
評価・課題等	有害ごみ（使用済み乾電池、蛍光管等）の処理を適正処理可能な専門事業者に委託し、適正処理及び再資源化を行うことができた。																											
事業所管課		市民部／市民課																										

予 算 科 目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	50塵芥処理一般経費	
細 事 業 名	01 塵芥処理一般経費				決算書 P.208
総 合 計 画	計画項目	8 ごみ・廃棄物の適正処理			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額	
964千円	1,041千円	77千円	92.6 %	1,041千円	
目 的	旧尾坂埋立処分地の湧水処理施設の維持管理及び水質等検査並びに旧不燃物処理場の検査を行うことで環境負荷を監視し、環境保全を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	旧尾坂埋立処分地の湧水処理施設の保守管理（機器点検、薬品補充、沈殿物場外処分等）並びに旧不燃物処理場周辺地域の井戸水及び排水重金属検査を行った。 また、旧丹後半島清掃センター及び旧久美浜町清掃センターの汚染負荷量賦課金を支出した。				
	○需用費	644千円			
	・ 消耗品費（薬品代：次亜塩素酸ソーダ・事務用品）	261千円			
	・ 光熱水費	264千円			
	・ 修繕料	119千円			
	○委託料	234千円			
	・ 水質検査等委託料（旧尾坂埋立処分地、旧不燃物処理場）				
	○使用料及び賃借料	35千円			
	・ 土地借上料（旧尾坂埋立処分地：地権者4人）				
	○公課費	51千円			
・ 汚染負荷量賦課金（旧丹後半島清掃センター）	43千円				
・ 汚染負荷量賦課金（旧久美浜町清掃センター）	8千円				
	※汚染負荷量賦課金 公害健康被害補償制度（昭和49年9月）により、補償給付及び公害保険福祉事業に必要な費用の相当分をばい煙発生施設設置者から徴収し、公害健康被害への補償へ充てるもの。賦課金の納付義務者は、昭和62年4月以前にばい煙発生施設等を設置し、更にその施設が硫黄酸化物を排出するもので、最大ガス量の合計が基準以上であった施設の設置者である。現在本市には、汚染負荷量賦課金対象施設は無いものの、昭和62年4月以前にばい煙発生施設等の設置していた者として、施設の廃止後も、公害健康被害への補償が終了するまで賦課される。				
主 な 財 源					
評 価 ・ 課 題 等	旧尾坂埋立処分地（網野町尾坂）跡、旧不燃物処理場（峰山町矢田）跡の水質等検査は法定義務によるものではないが、周辺地域の生活環境の保全を目的に今後も環境負荷への監視を継続することとしている。				
事 業 所 管 課		市民部／市民課			

予 算 科 目	04衛生費		02清掃費		03し尿処理費		02し尿収集事業	
細 事 業 名	01 し尿収集事業						決算書	P.208
総 合 計 画	計画項目	8 ごみ・廃棄物の適正処理						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額
181,748千円		182,825千円		1,077千円		99.4 %		186,791千円
目的	竹野川衛生センター、網野衛生センター、久美浜衛生センターの各施設において、し尿収集業務を行う。							
主要な事務・事業及び成果の概要	○竹野川衛生センター収集運搬事業（委託） 126,164 千円							
	・し尿収集運搬委託料（2者） 120,220 千円							
	・し尿処理券販売委託料（66か所） 3,274 千円							
	・その他収集関連経費（郵便代、ハガキ印刷等） 2,670 千円							
	○網野衛生センター収集運搬事業（直営） 22,138 千円							
	・臨時職員賃金（5人） 14,422 千円							
	・し尿収集運搬車維持管理経費（5台） 4,345 千円 （消耗品費、燃料費、修繕料、登録手数料、自動車損害保険料等）							
	・し尿処理券販売委託料（26か所） 1,938 千円							
	・その他収集関連経費（郵便代、ハガキ印刷等） 1,433 千円							
	○久美浜衛生センター収集運搬事業（委託） 33,446 千円							
・し尿収集運搬委託料（1者） 31,580 千円								
・し尿処理券販売委託料（24か所） 1,114 千円								
・その他収集関連経費（郵便代、ハガキ印刷等） 752 千円								
[各衛生センターのし尿収集等実績] (し尿対象人口はH28.3.31現在)								
区 分		収集件数	収集量	収集委託料	し尿対象人口			
竹野川衛生センター		23,224件	14,010kl	120,220千円	12,899人			
網野衛生センター		14,812件	9,797kl	直 営	9,020人			
久美浜衛生センター		4,873件	3,690kl	31,580千円	3,397人			
合 計		42,909件	27,497kl	151,800千円	25,316人			
主な財源	手数料 し尿処理手数料		104,336千円					
評価・課題等	○計画収集や口座振替について、作業及び受付時に制度のしくみを案内することにより、経費をかけずにし尿収集業務の効率を上げることができた。 ○今後、下水道への接続や人口減少等により、し尿収集件数及び収集量が減少する中で、更に事業の効率化を図る必要がある。							
事業所管課		市民部／衛生センター						

予 算 科 目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	03網野衛生センター管理運営事業														
細 事 業 名	01 網野衛生センター管理運営事業			決算書 P.210														
総 合 計 画	計画項目	8 ごみ・廃棄物の適正処理																
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額														
92,463千円	92,919千円	456千円	99.5 %	95,059千円														
目的	網野町域のし尿及び浄化槽汚泥の処理業務を行う。																	
主要な 事務・事業 及び成果の 概要	○施設管理 70,850 千円 - 施設運転管理経費（薬品、A重油、電気代等） 36,394 千円 - 施設運転管理委託料（施設管理、受付事務） 29,808 千円 - 貯留槽清掃委託料 3,376 千円 - 火災保険料 26 千円 - その他施設管理経費 1,246 千円 （消防設備等保守点検委託料、自家用工作物保安管理業務委託料等） ○公用車管理及び工事 21,613 千円 - 公用車維持管理経費（軽トラック1台） 13 千円 （自動車損害保険料） - 施設設備改修工事費 21,600 千円 （メタノール・A重油配管更新、凝集槽攪拌整備等） [し尿及び浄化槽汚泥処理実績] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">し 尿</th><th colspan="2">浄化槽汚泥</th></tr> <tr> <th>収集件数</th><th>処理量</th><th>収集件数</th><th>処理量</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>網野町</td><td>14,812件</td><td>9,797kl</td><td>880件</td><td>2,641kl</td></tr> </tbody> </table>				区 分	し 尿		浄化槽汚泥		収集件数	処理量	収集件数	処理量	網野町	14,812件	9,797kl	880件	2,641kl
区 分	し 尿		浄化槽汚泥															
	収集件数	処理量	収集件数	処理量														
網野町	14,812件	9,797kl	880件	2,641kl														
主な 財源	手数料 し尿処理手数料 40,680千円 手数料 浄化槽汚泥処理手数料 2,169千円																	
評価・課題等	○し尿及び浄化槽汚泥について、処理業務を停滞させることなく管理運営することができた。 ○昭和62年4月から稼働している施設であり、施設の長寿命化計画の見直し時期となっているが、徹底した維持管理に努め必要最小限の修繕対応により、施設を維持していく必要がある。																	
事業所管課	市民部／衛生センター																	

予 算 科 目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	04竹野川衛生センター管理運営事業		
細 事 業 名	01 竹野川衛生センター管理運営事業			決算書 P.210		
総 合 計 画	計画項目	8 ごみ・廃棄物の適正処理				
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
149,851千円	151,521千円	1,670千円	98.8 %	173,466千円		
目的	峰山町、大宮町、丹後町、弥栄町域のし尿及び浄化槽汚泥（網野町域浄化槽汚泥の一部を含む）の処理業務並びに市内の下水道汚泥の焼却処理を行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○施設管理 106,605 千円					
	・施設運転管理経費（薬品、A重油、電気代等） 63,214 千円					
	・施設運転管理委託料（施設管理、受付事務） 36,029 千円					
	・貯留槽清掃委託料 1,854 千円					
	・火災保険料 41 千円					
	・その他施設管理経費 5,467 千円					
	（消防設備等保守点検委託料、自家用工作物保安管理業務委託料等）					
	○公用車管理及び工事等 43,246 千円					
	・公用車維持管理経費（3tダンプ1台、軽自動車1台） 358 千円					
	（燃料費、修繕料、登録手数料、自動車損害保険料、自動車重量税）					
・施設設備改修工事費 41,688 千円						
（汚泥乾燥焼却炉整備、高度処理施設整備、計測機器整備等）						
・地元対策交付金 1,200 千円						
[し尿及び浄化槽汚泥処理実績]（単位：件、kl） [下水道汚泥処理実績]						
区 分	し 尿		浄化槽汚泥		施 設 名	処理量 (t)
	収集件数	処理量	収集件数	処理量		
峰山町	9,257	5,410	807	2,307	峰山・大宮浄化センター	733
大宮町	8,390	5,021	687	1,855	橘浄化センター	101
網野町	—	—	102	477	丹後浄化センター	85
丹後町	4,882	3,209	336	1,138	農業集落排水施設(弥栄町)	269
弥栄町	695	370	122	300	久美浜浄化センター	447
合 計	23,224	14,010	2,054	6,077	網野浄化センター	46
	合 計					1,681
主な財源	手数料	し尿処理手数料				62,093千円
	手数料	浄化槽汚泥処理手数料				5,127千円
	諸収入	下水汚泥処理料				22,696千円
評価・課題等	○し尿及び浄化槽汚泥並びに下水道汚泥について、処理業務を停滞させることなく管理運営することができた。 ○平成11年4月から稼働している施設であり、施設の長寿命化計画の見直し時期となっているが、徹底した維持管理に努め必要最小限の修繕対応により、施設を維持していく必要がある。					
事業所管課		市民部／衛生センター				

予 算 科 目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	05久美浜衛生センター管理運営事業																								
細 事 業 名	01 久美浜衛生センター管理運営事業			決算書 P.212																								
総 合 計 画	計画項目 8 ごみ・廃棄物の適正処理																											
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																								
75,869千円	76,069千円	200千円	99.7 %	80,009千円																								
目的	久美浜地域のし尿及び浄化槽汚泥（網野町域浄化槽汚泥の一部を含む）の処理業務を行う。																											
主要な事務・事業及び成果の概要	○施設管理 69,419 千円 - 施設運転管理経費（薬品、電気代、修繕料等） 8,353 千円 - 施設運転管理委託料（施設管理、受付事務） 9,940 千円 - 貯留槽清掃委託料 1,676 千円 - 火災保険料 27 千円 - 下水道使用料 48,519 千円 （前処理後、久美浜浄化センターで処理） - その他施設管理経費 904 千円 （消防設備等保守点検委託料、自家用工作物保安管理業務委託料等） ○工事 6,450 千円 - 施設設備改修工事費 （脱臭ファン整備、脱臭設備洗浄塔循環タンク補修等） [し尿及び浄化槽汚泥処理実績] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">し 尿</th><th colspan="2">浄化槽汚泥</th></tr> <tr> <th>収集件数</th><th>処理量</th><th>収集件数</th><th>処理量</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久美浜町</td><td>4,873件</td><td>3,690kl</td><td>735件</td><td>3,430kl</td></tr> <tr> <td>網野町</td><td>—</td><td>—</td><td>86件</td><td>442kl</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>4,873件</td><td>3,690kl</td><td>821件</td><td>3,872kl</td></tr> </tbody> </table>				区 分	し 尿		浄化槽汚泥		収集件数	処理量	収集件数	処理量	久美浜町	4,873件	3,690kl	735件	3,430kl	網野町	—	—	86件	442kl	合 計	4,873件	3,690kl	821件	3,872kl
区 分	し 尿		浄化槽汚泥																									
	収集件数	処理量	収集件数	処理量																								
久美浜町	4,873件	3,690kl	735件	3,430kl																								
網野町	—	—	86件	442kl																								
合 計	4,873件	3,690kl	821件	3,872kl																								
主な財源	手数料 し尿処理手数料 39,851千円 手数料 浄化槽汚泥処理手数料 3,243千円																											
評価・課題等	○し尿及び浄化槽汚泥について、処理業務を停滞させることなく管理運営することができた。 ○平成元年4月から稼動している施設であり、施設の長寿命化計画の見直し時期となっているが、徹底した維持管理に努め必要最小限の修繕対応により、施設を維持していく必要がある。																											
事業所管課	市民部／衛生センター																											

予算科目	05労働費	01労働諸費	01労働諸費	01シルバー人材センター運営助成事業															
細事業名	01 シルバ-人材センタ-運営助成事業			決算書 P.214															
総合計画	計画項目 22 生きがいをもって暮らし続けられる高齢者福祉の推進																		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額															
23,100千円	23,100千円	0千円	100.0 %	23,100千円															
目的	高齢者が長年にわたり培ってきた知識や技能を活かした就業機会の提供と、ボランティア活動などの社会参加を通じ、健康で生きがいのある生活と福祉の向上を目指す。																		
主要な事務・事業及び成果の概要	定年退職者等に、地域に密着した仕事を提供し、もって高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進を図るシルバー人材センター事業を助成することにより、高齢者福祉の推進を図った。 【事業概要】 <table><tr><td></td><td>平成27年度末</td><td>平成26年度末</td></tr><tr><td>会員数</td><td>758人</td><td>776人</td></tr><tr><td>就業延べ人員</td><td>80,868人</td><td>79,278人</td></tr><tr><td>受注件数</td><td>5,976件</td><td>5,644件</td></tr><tr><td>契約金額</td><td>325,259千円</td><td>315,275千円</td></tr></table> ○全国シルバー人材センター協会賛助会員会費 50千円 ○京都府シルバー人材センター連合会賛助会員会費 50千円 ○企画提案方式事業補助金「ひと・土・花」ふれあい事業 2,000千円 平成25年度～平成27年度 ・アンテナショップ事業 延べ就業人員 3,268人 ・ふれあい農園野菜・花作り事業 延べ就業人員 138人 ・高齢者生きがいと健康づくり事業（介護講習、料理講習、健康づくり講習ほか） 延べ参加人員 313人 ○シルバー人材センター運営費補助金 21,000千円					平成27年度末	平成26年度末	会員数	758人	776人	就業延べ人員	80,868人	79,278人	受注件数	5,976件	5,644件	契約金額	325,259千円	315,275千円
	平成27年度末	平成26年度末																	
会員数	758人	776人																	
就業延べ人員	80,868人	79,278人																	
受注件数	5,976件	5,644件																	
契約金額	325,259千円	315,275千円																	
主な財源																			
評価・課題等	高齢者の就業機会の確保に加え、高齢者が長年培ってきた知識や経験、技術等が地域社会に生かされるとともに、高齢者本人の生きがいづくりや社会参加の機会確保につながった。																		
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課																		